Electone STAGEA •

ELS-01/01C/01X バージョン 1.7 追加機能説明書

ELS-01/01C/01Xでは、バージョン1.6から1.7へのバージョンアップにともない、 いくつかの画面や操作が追加または変更されました。 この追加機能説明書では、バージョン1.7で追加または変更された機能について説明し ます。

目次

1. MDR画面変更/譜面表示機能追加5ページ
2. レジストレーションメモリーのコピー機能追加
3. リズムシーケンスのコピー機能追加
4. サステインの設定内容変更
5. オルガンフルートへのエフェクトページ追加
6. ディスエーブルモード機能追加
7. ボイスエディット画面変更
8. MIDIコントロールへの設定項目追加
その他の機能変更65ページ
MIDIデータフォーマット
仕様

本書の該当ページを、お手持ちのエレクトーンの取扱説明書と読み替えてください。読み 替えるページは、2ページ「追加/変更された機能について」および4ページ「その他の機 能変更」をご覧ください。

追加/変更された機能について

このELS-01/01C/01Xバージョン1.7 追加機能説明書は、お手持ちのエレクトーンの取扱説明書を部分的に読み替えてご使用いただけるようになっています。

1. MDR画面変更/譜面表示機能追加

<MDR画面全体変更>

MDR画面が大幅に変わり、より直感的にメディアやソングを扱えるようになりました。

取扱説明書の項目	本書のページ
7章 ミュージックデータレコーダー (MDR)	5~42ページ

<MDR画面 ソングページに[譜面]ボタン追加>

ソングの譜面を表示できるようになりました。

取扱説明書の項目	本書のページ
新機能	33~34ページ

2. レジストレーションメモリーのコピー機能追加

<ボイスディスプレイ【ページ3】レジストセクションコピー追加>

レジストレーションナンバーに記録されているレジストレーションを音群ごとに別のレジ ストレーションナンバーにコピーできるようになりました。

取扱説明書の項目	本書のページ
新機能	43~44ページ
1章 基本操作 - 4. ボイスディスプレイ	45~46ページ

3. リズムシーケンスの追加コピー機能追加

<シーケンス画面変更>

リズムシーケンスをコピーするだけでなく、リズムシーケンスの最後に別のリズムシーケンスを追加コピーできるようになりました。

取扱説明書の項目	本書のページ
新機能	47ページ

4. サステインの設定内容変更

<サステインレングス画面変更>

サステインの長さをより細かく設定できるようになりました。 上鍵盤/下鍵盤/ペダル鍵盤と3種類にわけられていたサステインの対象が、音群ごと8種類 (ELS-01では6種類)と増えて、より細かく設定できるようになりました。 また、設定値にホールドが追加され、一部のボイスでは鍵盤から指を離しても、音を鳴ら し続けることができるようになりました。

取扱説明書の項目	本書のページ
4章 コントロールとエフェクト 2. パネル上のボタンで設定するもの - サステイン	48ページ

5. オルガンフルートへのエフェクトページ追加

<オルガンフルート画面 エフェクトページ追加>

<オルガンフルート画面 アタック/ボリュームページ変更>

オルガンフルートにエフェクトページが追加されました。

エフェクトページでは、オルガンサウンドにかけるロータリースピーカー (トレモロ効果) の設定ができます。

取扱説明書の項目	本書のページ
3章 オルガンフルート	49~51ページ
4章 コントロールとエフェクト 2. パネル上のボタンで設定するもの - ロータリースピーカー	52~53ページ

6. ディスエーブルモード機能追加

<ユーティリティー画面 設定ページ変更>

ディスエーブルボタンをオンにして、レジストレーションを切り替えたときに、変わらな いようにする機能を選択できるようになりました (ディスエーブルモード)。

取扱説明書の項目	本書のページ
6章 レジストレーションメモリー 2. レジストレーションを呼び出す	54~55ページ

7. ボイスエディット画面変更

<ボイスエディット画面変更>

ボイスエディット画面が変わり、より直感的にボイスをエディットできるようになりました。

取扱説明書の項目	本書のページ
8章 ボイスエディット 2. ボイスをエディットする - AWM音色のエディット	56~61ページ
8章 ボイスエディット 2. ボイスをエディットする – VA音色のエディット	61~62ページ

8. MIDIコントロールへの設定項目追加

<ユーティリティー画面 MIDIページ変更>

ユーティリティー画面MIDIページで、エクスプレッションペダル、セカンドエクスプレッションペダル(ELS-01C/01Xのみ)のMIDI送信チャンネルを変更できるようになりました。

取扱説明書の項目	本書のページ
13章 外部機器との接続 - 5. MIDIコントロール	63~64ページ

その他の機能変更

エフェクトやリバーブなどを選択するポップアップ画面で、項目を選択すると自動的に ポップアップ画面が閉じるようになりました。従来は項目を選択したあと、[閉じる]ボタン を押す必要がありました。

取扱説明書の項目	本書のページ
取扱説明書各所	追加記載なし

リズムプログラムで、リズムをコピーするときの指定順がコピー先→コピー元から、 コピー元→コピー先に変わりました。

取扱説明書の項目	本書のページ
9章 リズムプログラム 入力するリズムの基本設定をする:2 アセンブリー	65ページ
9章 リズムプログラム 2. リズムパータンをつくる:リズムパターンプログラム アカンパニメントを選ぶ/つくる(ロワーリズミック機能)	66ページ

レジストレーションメモリーに記録できない機能についての情報を更新しました。

取扱説明書の項目	本書のページ	
6章 レジストレーションメモリー - メモリーできない機能	67ページ	

エレクトーンに接続できるUSB装置の台数が変わりました。

取扱説明書の項目	本書のページ
13章 外部機器との接続 - 2. 外部機器との接続 USB記憶装置やUSB-LANアダプターを接続する	68ページ

MIDIデータフォーマットについての情報を更新しました。

取扱説明書の項目	本書のページ
14章 付録 - MIDIデータフォーマット	69~81ページ

仕様についての情報を更新しました。

取扱説明書の項目	本書のページ
14章 付録 - 仕様	82~83ページ

MDR画面変更/譜面表示機能追加

MDR (ミュージックデータレコーダー)は、スマートメディアやUSBフラッシュメモリーなどの外部メディアに、レジ ストレーションや演奏データを録音したり、録音したデータを再生/編集したりする機能です。別売のフロッピーディス クドライブ(UD-FD01など)を取り付けると、フロッピーディスクを使用することもできます(ELS-01C/01Xには、 フロッピーディスクドライブは付属しています)。

使用できる外部メディアについては、インターネット上のヤマハエレクトーンホームページ<http://electone.jp/>で ご確認ください。

この章の内容

1 MDR機能に入る5	j
2 MDR画面の操作6	;
•アイコン一覧	;
•スマートメディア™(メモリーカード)の取り扱いについて1C)
・フロッピーディスクの取り扱いについて	
3 メディアを初期化(フォーマット)する 12	2
4 ソングを選ぶ 13	}
5 演奏を録音する 15	j
• 演奏を録音する	ć
• 演奏をやり直す 16	3
•パートごとに録音する16	3
•パンチイン録音18	3
6 ソングに名前をつける18	}
7 レジストレーションを保存する21	
•1つのソングに複数のレジストレーションを保存する 21	
・レジストレーションだけを入れ替える22)
 ネクストレジスト機能の設定23 	}

8 レジストレーションなどのデータを読み込む2	25
9 ソングを再生する 2	28
 特定のパートだけを再生する	29 30 30 31
10 譜面を表示する	33
 ・ i i i	34
11 その他の機能(ツール)を使う	35
 ソングコピー	35
 ・ソングの削除 ・XG変換機能 ・ELS→EL変換機能 ・EL→ELS変換機能 ・EL→ELS変換機能 ・>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>	37 39 40 41
	т <u>с</u>

MDR機能に入る

MDR機能を使って演奏やレジストレーションを録音したり、再生したりする場合は、すべてMDR画面で行ないます。[MDR]ボタンを押すと、MDR画面が表示されます。

DISPLAY SELECT O O O VOICE A.B.C. DISPLAY M.O.C. MDR	MDR	(ソング) (ツール)
\Box		E La
	📼 SmartMedia	□ Φ (2
	😅 USB 01	
	😅 US8-FD01	
UOGAN LORGAN ROTARY SP FLUTES FLUTES SPEED		▶▶ ● ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

MDR操作中(ソングの再生中など)でも、パネル上の別のボタンを押すと、MDR画面を抜けてしまいます。その場合は、もう一度[MDR]ボタンを押すと、もとのMDR画面に戻ります。

この章では、MDR画面が表示されているものとして、各操作の手順を説明します。

2 MDR画面の操作

MDR画面には、ソングページとツールページがあります。ソングページはソングを選んで、再生/録音などの操作を行なうためのページです。ツールページはソングのコピーや削除などの編集を行なうためのページです。

ソングページとツールページは画面右上の[ソング]ボタンや[ツール]ボタンを押して切り替えます。



● 現在の位置

現在選択されているメディア/フォルダーが表示されます。画面例では現在「発表会」というフォルダーの中身が画面に表示されていることを示しています。「発表会」の上に表示されている「SmartMedia:/」はこの「発表会」フォルダーがスマートメディア内にあることを示しています。「:/」の前にはメディアの種類が、「:/」の後ろにはフォルダー名が表示されます。

たとえば、「SmartMedia:/Folder1/」と表示されている場合は、「スマートメディア内の」 「Folder1という名前のフォルダー」であることを示します。

❷ メディア/フォルダー /ソングリスト

選択できるメディア/フォルダー /ソングが表示されます。選択できるフォルダーは最大 120個です(画面上には5個表示されます)。

❸ スクロールボタン

選択可能なメディア/フォルダー /ソングが多い場合、画面外に隠れていることがあります。 その場合は、このボタンを使って、隠れているメディア/フォルダー /ソングを表示させま す。

❹ 演奏設定

関連ページ ソングの演奏設定(14ページ)

選択されているソングの演奏に関する設定を表示/変更できます。

6 上に

ひとつ上の階層のフォルダーまたはメディアへ移動します。たとえば、現在の位置が 「SmartMedia:/Folder1/」(スマートメディア内のFolder1というフォルダー)の場合は、 このボタンを押すことで「SmartMedia:/」(スマートメディア)に移動します。

6 中に

選択されているフォルダーまたはメディアの中へ移動します。たとえば、現在の位置が 「SmartMedia:/Folder1/」(スマートメディア内のFolder1というフォルダー)で、選択さ れているフォルダーが「SONG」の場合は、このボタンを押すことで「SmartMedia:/ Folder1/SONG/」(スマートメディア内のFolder1内のSONGフォルダー)に移動します。

Ø 状態表示

ソングの録音中、再生中に経過時間を表示します(99分59秒まで表示可能)。

③ ソングコントロール

ソングの録音、再生などをコントロールします。

O カスタムプレイ

選択されているソングの演奏データだけを録音/再生します。このボタンを使うと、レジス トレーションデータは読み込まれません。

0 譜面

選択されているソングの譜面を表示します。

① レジスト編集

選択されているソングのレジストレーションデータを編集する画面を表示します。

⑦ フォルダー作成

現在表示されているメディア/フォルダー /ソングリストに、新しいフォルダーを作成しま す。120までのフォルダーを作成できます。このボタンを押すと、フォルダー名を設定す る画面が表示されます。フォルダー名をつけて[OK]ボタンを押すと、新しいフォルダーを 作成できます。フォルダー名のつけ方は、ソングの名前のつけ方と同じです。18ページを ご覧ください。

⑥ 名前変更

選択されているフォルダー /ソングの名前を変更します。

個 ⊐ピー

選択されているソングをコピーします。

⑥ 削除

選択されているフォルダー /ソングを削除します。

⑥ 変換

選択されているソングを他のエレクトーンや機器で再生できるように変換したり、他のエ レクトーンで録音されたソングをこのエレクトーン用のソングに変換したりします。XG変 換、ELS→EL変換、EL→ELS変換が選べます。

① 情報

メディアが選択されているときは空き容量(残量)を、ソングが選択されているときは容量や 曲名、作曲者名などを表示します。表示される内容は、ソングによって異なります。



演奏を録音する(15ページ) ソングを再生する(28ページ)



譜面を表示する(33ページ)



レジストレーションを保存する (21ページ) レジストレーションなどのデー タを読み込む(25ページ)



ソングに名前をつける (18ページ)



ソングコピー(35ページ)



ソングの削除(37ページ)



XG変換機能(39ページ) ELS→EL変換機能(40ページ) EL→ELS変換機能(41ページ)



ソング容量/メディアの残量の 確認(42ページ) プロテクトソングの詳細表示(27 ページ) メディアが見つからないときは:

グレー表示になって押せなくなるまで、 ご ェ ボタンを数回押します。 メディアがリスト表示されます。表示されているメディアが多い場合、画面外に隠 れていることがあります。その場合は、スクロールボタン(6ページ ③)を使って、 隠れているメディアを表示させます。

ソングが見つからないときは:

現在の位置(6ページ ●)を確認します。

目的のソングが、現在表示されているフォルダー内にある場合は、スクロールボタン(6ページ ③)を使って隠れているソングを表示させます。
目的のソングが別のフォルダー内にある場合は、 エ ボタンや マ ー ボタンを使って、目的のソングが入っているフォルダーに移動します。
目的のソングがどこにあるかわからない場合は、 エ ボタンを数回押してメディアをリスト表示させ、思い当たるメディアの中をひとつずつ確認してみましょう。

アイコン一覧

ソングを選ぶときに表示される画面で使われているアイコンです。それぞれのアイコンの 意味は次のようになっています。

スマートメディアやフロッピーディスクといったメディアであることを示し ます。メディア/フォルダー /ソングリストで表示されます。

フォルダーであることを示します。



メディアにライトプロテクトまたはコピープロテクトがかかっていることを 示します。



演奏データが入っていることを示します。



XGソングであることを示します。



プロテクトソング(オリジナル)であることを示します。詳しくは26ページを ご覧ください。



プロテクトソング(編集)であることを示します。詳しくは26ページをご覧く ださい。



セージはプロテクトソングを呼

び出しているときに表示されま

す。

メディア内の構成:フォルダー /ソング/ファイル

フォルダーとは

フォルダーとは、メディア内のソングを整理するための保管場所です。容量の大きい スマートメディアやUSBフラッシュメモリーには、数百ものソングを保存することが できるので、多くのソングを保存した場合には、呼び出したいソングを探すのが大変に なります。そこで、フォルダーをつくってソングを管理することで、メディア内のソン グを管理しやすくします。



ソングとは

ソングとは、本来は「曲」という意味ですが、エレクトーンでは、外部メディアに保存 する1曲分のデータのことをソングと呼びます。1つのソングには、レジストレーショ ンデータや演奏を録音したデータなどがファイルとして保存されています。

ファイルとは

エレクトーンでは、ソングを構成するデータのひとつひとつを「ファイル」と呼びま す。つまり、ひとつのソングにはレジストレーション情報のファイル、演奏情報のファ イルといった複数のファイルが入っているのです。MDR機能を使って保存されたソン グ内には、以下のファイルがあります。(拡張子とは、Windowsなどのコンピューター がファイル形式を識別するための識別子です。拡張子は、エレクトーンの画面上には 表示されません。)

ソングに保存されるファイルの種類

保存されるファイル	ファイルの内容	拡張子
演奏データ	エレクトーンで録音した演奏が入っているファイル です。	.mid
レジストレーションなどの データ	レジストレーションだけでなく、ユーザーボイスや ユーザーリズム、リズムシーケンス、レジストレー ションシフトなどのデータが含まれているファイル です。	.b00
XG変換後のデータ	演奏を録音したデータを、XG機器で再生できる形 式に変換したファイルです。	.mid

このほかに、メディアにどんなファイルが入っているか、また、各フォルダーにどんな データが入っているのかを管理するための管理ファイル(拡張子:.nam)があります。 管理ファイルは、各フォルダーに1つ、自動的に作成されます。(管理ファイルは、エ レクトーンの画面上には表示されません。)

スマートメディア™*(メモリーカード)の取り扱いについて

* スマートメディアは株式会社東芝の商標です。

この楽器にはスマートメディア用のカードスロット(挿入口)が 装備されています。

カードスロットにスマートメディアを挿入すると、本体で作っ たデータをスマートメディアに保存したり、スマートメディア 内のデータを本体に読み込んだりできます。

スマートメディアをご使用いただく場合は、以下のことをお守 りください。

■ 使用できるスマートメディアの種類

- 電源電圧が3.3V(3V)のスマートメディアが使用できます。 5Vのスマートメディアは使用できません。
- メモリー容量が2MB/4MB/8MB/16MB/32MB/64MB/ 128MBの7種類のスマートメディアがご使用になれます。 SSFDCフォーラムの規格に準拠したものであれば、ご使用 いただけます。

SSFDCとはSolid State Floppy Disk Card(スマートメディアの別称) の略です。またSSFDCフォーラムとはスマートメディアの使用を促進 することを目的として作られた任意団体です。

■ スマートメディアのフォーマット

新しいスマートメディアや他の機器で使っていたスマートメディアは、そのままでは使えない場合があります。この機器のカードスロットに入れてもスマートメディアが読めない場合は、フォーマット(初期化)をする必要があります。フォーマットの方法は12ページをご覧ください。なお、フォーマットを行なうとスマートメディア内のすべてのデータは消去されます。あらかじめ、データの有無をご確認ください。

この機器でフォーマットしたスマートメディアは他の機器で使用できな くなる場合があります。

■ スマートメディアの挿入/取り出し

● スマートメディアの挿入

 スマートメディアの端子 部(金色)を下向きにして、 カードスロット(挿入口) にカチッと音がするまで 差し込みます。



- スマートメディアの向き (上下、前後)を間違えな いようご注意ください。
- カードスロットにゴミや異物が入らないようにご注意ください。誤動作や故障の原因となります。

● スマートメディアの取り出し

あらかじめ楽器本体がスマートメディアにアクセス中*でないことを確認した上で、カードをカチッと音がするまで押し込み、指を離します。スマートメディアが押し出されるので、カードを取り出して(引き抜いて)ください。スマートメディアが途中で引っかかり取り出せなくなった場合は、無理に取り出そうとせず、もういちど挿入口に完全に押し込んでからやり直してください。

.

* アクセス中:録音や再生、データ削除などの作業中を指しま す。また、電源が入っている状態でスマートメディアを挿入 したときも、楽器本体がメディアの種類を確認するために自 動的にアクセス中になります。

アクセス中にスマートメディアを取り出したり、楽器本体の電源を切ったりしないでください。スマートメディアがこわれたり、 楽器本体/スマートメディアのデータがこわれたりするおそれが あります。

■ スマートメディアについてのご注意

● スマートメディアの取り扱いと保管

- 静電気によってスマートメディアのデータが失われる場合が あります。スマートメディアに触れるときは、あらかじめ身 近な金属(アルミサッシや金属のドアノブなど)に触れて静電 気を取り除いてください。
- 長時間使用しないときは、スマートメディアを挿入口から取り出して、湿気やほこりの少ないところに保管してください。
- 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くな ど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いとこ ろに置かないでください。
- 落としたり、物をのせたり、折り曲げたりしないでください。
- スマートメディアの端子部(金色)に直接触れたり金属を当て たりしないでください。
- 磁気を帯びたもの(テレビやスピーカーなど)には近づけない でください。
- スマートメディアにはラベル以外のもの(メモなど)を貼らないでください。ラベルは所定の位置にはがれないようにしっかりと貼ってください。

● 誤消去防止

- スマートメディアには、誤ってデータを消してしまわないように銀色のライトプロテクトシールが付属していています。 大切なデータが入っているスマートメディアは、スマートメディアのパッケージに入っているライトプロテクトシールを 指定の場所(○マークの中)に貼って、書き込みができないようにしてください。逆に、データを保存する場合などは、ご 使用の前にスマートメディアのライトプロテクトシールがはがされていることをご確認ください。
- 一度はがしたシールは、再使用しないでください。

■ データのバックアップ

 スマートメディアの万一の事故に備えて、大切なデータは バックアップとして予備のスマートメディアに保存しておか れることをおすすめします。

フロッピーディスクの取り扱いについて

ELS-01では、フロッピーディスクをご使用になるにはフロッ ピーディスクドライブ(UD-FD01など)を本体に取り付ける必 要があります。UD-FD01の取り付け方法は、取扱説明書をご 覧ください。

フロッピーディスク(ドライブ)をご使用いただく場合は、以下 のことをお守りください。

■ 使用できるフロッピーディスクの種類

• 3.5インチの2DD、または、2HDフロッピーディスクが使 用できます。

■ フロッピーディスクのフォーマット

新しいディスクや他の機器で使っていたディスクは、そのままでは使えない場合があります。この機器のドライブに入れてもディスクが読めない場合は、フォーマット(初期化)をする必要があります。フォーマットの方法は12ページをご覧ください。なお、フォーマットを行なうとディスク内のすべてのデータは消去されます。あらかじめ、データの有無をご確認ください。

この機器でフォーマットしたフロッピーディスクは、そのままでは他の 機器で使えない場合があります。

■ フロッピーディスクの挿入/取り出し

● フロッピーディスクの挿入

 フロッピーディスクのシャッターに文字が書かれている方(表面)を上にして、ディスク挿入口にカチッと音がするまで ていねいに差し込みます。

ΝΟΤΕ

フロッピーディスクドライブに、金属や紙片などの異物を入れないでく ださい。ディスクがこわれたり、ディスクドライブユニットが故障した りする原因になります。

● フロッピーディスクの取り出し

- あらかじめフロッピーディスクにアクセス中*でないことを 確認した上で、ディスク挿入口の右上にあるイジェクトボタ ンをしっかりと奥まで押します。フロッピーディスクが押し 出されるので、取り出して(引き抜いて)ください。フロッ ピーディスクが途中で引っかかり取り出せなくなった場合 は、無理に取り出そうとせず、もう一度イジェクトボタンを 押しなおすか、またはフロッピーディスクをディスク挿入口 に完全に押し込んでからやり直してください。
- * **アクセス中**:録音や再生、データ削除などの作業中を指しま す。また、電源が入っている状態でフロッピーディスクを挿 入したときも、楽器本体がディスクの内容を確認するために 自動的にアクセス中になります。

アクセス中にフロッピーディスクを取り出したり、楽器本体の電源を切ったりしないでください。ディスク内容がこわれるだけでなく、フロッピーディスクドライブの故障の原因になります。

 電源を切るときは、フロッピーディスクはあらかじめディス クドライブユニットから取り出してください。電源を切った あと、フロッピーディスクを入れたまま長時間放置すると、 ディスクが汚れ、データの読み書きにエラーが生じる原因に なります。

■ 磁気ヘッドの定期的なクリーニング

- ディスクドライブユニットは高精度の磁気ヘッドを使用しています。ディスクドライブユニットを長時間使用していくうちに、磁気ヘッドはフロッピーディスクの磁性粉で汚れてきます。磁気ヘッドが汚れると、録音や再生にエラーが生じることがあります。
- ディスクドライブユニットを良好な状態でご使用いただくために、磁気ヘッドを定期的に(1ヵ月に1回程度)クリーニングしていただくことをおすすめします。

磁気ヘッドのクリーニングには、市販の「乾式ヘッドクリーニングディ スク」をご使用ください。なお、取扱説明書巻末のヤマハ電気音響製品 サービス拠点で、弊社推奨の「乾式ヘッドクリーニングディスク」をお 求めいただくこともできます。

■ フロッピーディスクについてのご注意

● フロッピーディスクの取り扱いと保管

- (持ち運ぶ場合も含めて)必ず市販のケースに入れて保管し、落 としたり、物をのせたり、折り曲げたりしないでください。
- 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くな ど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところに置かないでください。また、ディスク内部に水やほこり などが入らないようにご注意ください。
- ディスクのシャッターを開けて、内部の磁性体に触れないでください。
- 磁気を帯びたもの(テレビやスピーカーなど)には近づけない でください。
- シャッターやディスク自体が変形しているようなディスクは、使用しないでください。
- フロッピーディスクにはラベル以外のもの(メモなど)を貼らないでください。ラベルは所定の位置にはがれないようにしっかりと貼ってください。

● 誤消去防止

 フロッピーディスクには、誤ってデータを消してしまわない ようにライトプロテクトタブ(書き込み禁止タブ)が付いてい ます。大切なデータが入っているディスクは、ライトプロテ クトタブをオン(タブの窓が開いた状態)にして、書き込みが できないようにしてください。

逆に、データを保存する場合などは、ご使用の前にディスク のライトプロテクトタブがオフになっていることをご確認く ださい。

●データのバックアップ

 フロッピーディスクの万一の事故に備えて、大切なデータは バックアップとして予備のディスクに保存しておかれること をおすすめします。

市販フロッピーディスクの中には粗悪品もございます。メーカー名をご 確認の上、お求めください。

3 メディアを初期化(フォーマット)する



使用できるUSBフラッシュメモ リーについては、インターネッ トのヤマハエレクトーンホーム ページ<http://electone.jp/> でご確認ください。 新しいメディア(スマートメディアやUSBフラッシュメモリーなど)は、そのままでは使え ない場合があります。この場合、メディアをフォーマット(初期化)する必要があります。 フォーマットとは、メディアをエレクトーンで使用できる形式にする作業です。 フォーマットを実行すると、メディアの中のすべてのデータは消去され、新たにデータが 記録できる状態になります。消去されたデータは永久に失われてしまいます。フォーマッ トを実行する前に、重要なデータが入っていないかどうかよくご確認ください。

メディアを、向きを間違えないようにして、挿入口にしっかりと挿入します。



画面右上の[ツール]ボタンを押して、ツールページを表示させます。

グレー表示になって押せなくなるまで、 🖵 📧 ボタンを数回押します。



ELS-01では、フロッピーディス クドライブを接続しないと、画 面に[USB-FD01]ボタンは表示 されません。

フォーマットしたいメディアを選びます。

スマートメディアをフォーマットする場合は[SmartMedia]を、フロッピーディス クをフォーマットする場合は[USB-FD01]を選びます。その他のメディアは「USB 01」などと表示されます。

MDR	<u> </u>
	L FE
📼 SmartMedia	1 • 6
😅 USB 01	
USB-FD01	
	71-79ト 情報



[フォーマット]ボタンを押します。

画面に「フォーマットしますか?」というメッセージが表示されます。[フォーマット]を選ぶとフォーマットが開始されます。フォーマットが終了すると画面が手順4の表示に戻ります。[キャンセル]を押すとフォーマットせずに手順4の画面に戻ります。

4 ソングを選ぶ

演奏データやレジストレーションデータを保存するときには、何も記録されていないソン グを選びます。ソングを再生したり、ソングに名前を付けたりするときには、データが保 存されているソングを選びます。

MDR画面には、現在選ばれているメディア/フォルダー内のソングが表示されています。 表示されているソングの中から、目的のソングを選びます。

メディアを確認します。

たとえばスマートメディアのソングを選びたい場合は、画面上部に 「SmartMedia:/」(スマートメディア)が表示されていることを確認します。

MDR		<u>ソング ツール RE6_00</u>
SnartMedia:/	G	Ľ₿ ±ĸ
2 5	ONG_001	▶ 演奏设定
J 5	ONG_002	
		1-31"71-80.90

目的のメディアが表示されていない場合は、8ページの「メディアが見つからないときは」で目的のメディアを選んでください。

一 選択したいソングのボタンを押します。

これからデータを録音したい場合は、何も書いてない(データの入っていない)ソングのボタンを押します。ソングのボタンがオレンジ色に変わり、選択できたことを示します。

すでにデータの入っているソングを選んで再生したい場合は、ソング名やアイコン を参考にして、目的のソングのボタンを押します。

データの入っ	ているソング	
SONG	_002	
データの入っ	っていないソング	



ソングに名前をつける (18ページ) アイコン一覧 (8ページ)



特定のパートだけを再生する (29ページ) 再生テンポを変更する (30ページ)

ソングの演奏設定

ソングページで、ソングを選択した状態で ♪ ★★★★★ ボタンを押すと、そのソングを再 生したときにどのパートがどんなテンポで再生されるかを確認できます。



[▶](再生)ボタンを押したときには、この画面で「PLAY」になっているパートだけ が、表示されているテンポ(録音されたときの50%~200%の範囲)で再生されます。 演奏データの入っていないソングの場合は、すべてのパートが「OFF」になっていま す。[パート保存]ボタンを押すと、各パートの再生状態を保存できます。(テンポの値 は保存されません。)

録音中は、絶対に電源を切った り、メディアを抜いたりしない

でください。

5 演奏を録音する

演奏を録音する

演奏を録音する前に、あらかじめ、レジストレーションメモリーの設定など、録音したい 曲の演奏の準備をしておきましょう。



─ 演奏を録音するソングを選択します。

データの入っていないソングを選びます。ソングの選択については、13ページをご覧ください。

データの入っているソングに上書きしたい場合は、37ページ「ソングの削除」で、 あらかじめ上書きしたいソングを削除しておいてください。

~ 右上の[ソング]ボタンを押してソングページを表示させ、画面の[●](録音)

ボタンを押します。

下の画面が表示され、録音待機状態になります。

artMedia:/SI	IG_001	1				J 10	定档了
	**		19-	• •		<u>98-1</u>	-
100%		REC	REC	REC ペダル	XG	OFF	
100%	•	OFF	OFF	REC			
1871	_	リード	キーあ [*] ート* ル*ーカッジョン	3740-1			
					ハ*→ト保存		



録音開始前に「メディアの空き 容量が不足しています。」という メッセージが表示された場合は、 [キャンセル]ボタンを押したあ と、[■](停止)ボタンを押して、 MDR画面に戻り、不要なソング を削除するか、新しいメディア を挿入してください。 空き容量が少なくても、そのま ま録音を続行する場合は[録音続 行]ボタンを押します

画面の[▶](再生)ボタンを押します。

画面左下に砂時計が表示され、レジストレーションデータの保存中であることを示します。

) 砂時計の表示が消えたことを確認してから、演奏を開始します。

🯒 演奏が終わったら、画面の[■](停止)ボタンを押します。

録音を終了し、演奏データをメディアに書き込むと、MDR画面に戻ります。録音したソングには、「SONG_XXX (XXXには数字が入ります)」と表示され、そのソングにデータが録音されたことを示します。録音したソングには、名前をつける(変更する)ことができます。ソング名の変更については、18ページをご覧ください。



砂時計や書き込み中のメッセー ジが表示されている間は、 メディアを抜かないでください。 演奏をやり直す

演奏をミスした場合には、はじめからやり直すことができます。

録音中に、画面の[●](録音)ボタンを押します。

録音が中止され、曲の頭に戻ります。

REC REC	REC	
1010 Fight Fight		OFF
Contracting and the second sec	XG	- Sec
▼ 0FF 0FF	REC	
U - F 1-6-F	+u-#	
	パート保存	

[▶](再生)ボタンまたは[カスタムプレイ]ボタンを押します。

ふたたび録音が開始します。前もって録音されたデータは、すべて新しいデータに 置き換わります。

パートごとに録音する

上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤の、それぞれのパートの演奏や、レジストレーションの変更 やエクスプレッションペダルの操作といったコントロールデータを、個別に記録すること ができます。また、リードボイス1とキーボードパーカッションは、上鍵盤/下鍵盤の演奏 と独立して録音することもできます。ここでは、はじめに下鍵盤とペダル鍵盤の演奏を録 音し、次に上鍵盤の演奏を録音する手順を例に説明します。

15ページ「演奏を録音する」の手順1~3の操作を行ないます。

録音したいパートを選択します。

各パートボタンを押すたびに、そのパートのPLAY/OFF/RECが切り替わります。 録音したいパートを「REC」にし、録音したくないパートを「OFF」または [PLAY] にします。

- PLAY: すでに録音してあるパートを再生します。
- OFF: 録音や再生を行ないません。
- REC: 録音します。

上鍵盤をRECにすると、上鍵盤の音群(リードボイス1も含む)の演奏が録音されます が、リードをRECにすると、リードボイス1の演奏だけを録音することもできます (リード分離)。上鍵盤とリードを同時にRECにすることはできません。下鍵盤と キーボードパーカッションも同様です。



キーボードパーカッションを 録音する場合は、パネル上の **KEYBOARD PERCUSSION** [1]または[2]ボタンがオンに なっていることを確認してくだ さい。

ШП [■](停止)ボタンを押すと、録 音のやり直しをやめて、直前の 演奏が録音されます。

NOTE

ШШ

下のように設定すると、下鍵盤とペダル鍵盤の演奏だけをパート録音できます。



- 【 画面の[▶](再生)ボタンを押し、砂時計の表示が消えたら演奏を開始します。

4 (下鍵盤とペダル鍵盤の)演奏が終了したら、画面の[■](停止)ボタンを押し
ます。

これで(下鍵盤とペダル鍵盤の)パート録音ができました。

次に、録音しなかった(上鍵盤)パートの録音を行ないます。

– 「●](録音)ボタンを押します。

上書きするかどうか確認を求めるメッセージが表示されます。[上書き]を選ぶと、 録音待機中の画面が表示されます。

録音したいパートを選択します。

新たに録音したいパート(ここでは上鍵盤)を「REC」にします。また、手順2で録音 したパート(ここでは下鍵盤とペダル鍵盤)を「PLAY」にすると、さきほど録音した データが再生され、再生音を聞きながらほかのパートを録音できます。

選択されているパートの再生テンポを変更します。 再生テンポは50%~200%の範囲で設定できます。ソングに入っているもとのテン ポが100%で表示され、それよりも大きい数値にすると速く、小さい数値にすると 遅くなります。

ー度変更したテンポをもとの状態(100%)に戻すには、テンポ 表示の下にある[リセット]ボタン を押します。

新しいパートを録音するために、画面の[カスタムプレイ]ボタンを押します。 すでに録音したパート(下鍵盤とペダル鍵盤)の再生が始まりますので、それにあわせ て新規のパート(上鍵盤)の演奏を始めます。 [カスタムプレイ]ボタンは、レジストレーションデータ以外のデータを録音/再生す る場合に使います。レジストレーションデータは手順3ですでに記録されていますの で、すぐに録音できる状態になります。

前回録音したソングの最後まで行くと、MDRは自動的にストップします。重ねて録 音するパートの長さは、その前に録音したパートの長さ以上にはなりません。

パンチイン録音

録音したソングの一部だけを録音し直すことができます。パートを選択することによって、 特定のパートだけをパンチイン録音することもできます。

ΠΠΠ NOTE mm

休符と休符ではさまれたフレー ズごとに、パンチイン録音する と便利です。

パンチイン録音したいソングを選びます。 ソングの選択については、13ページをご覧ください。

[▶](再生)ボタンを押して、ソングを再生します。

録音し直したい位置で、[■■] (一時停止)ボタンを押します。 ソングが一時停止状態になります。

[●](録音)ボタンを押します。 録音画面が表示され、録音待機状態になったことを示します。

録音をやり直したいパートを「REC」に設定し、それ以外のパートは「PLAY」 に設定します。

[▶](再生)ボタンを押して録音を開始します。変更したい部分だけを演奏し ます。

録音し直したい部分の演奏が終わったら、速やかに[■](停止)ボタンを押して 録音を終了します。

ソングに名前をつける 6



XGソングのソング名をつける せん。

演奏やレジストレーションを録音したソングに名前を付けることができます。曲名や、 録音した日付などをソング名にしておくと便利です。ただし、EL-900などのELシリーズ 場合、拡張子(.mid)は変更できまで作成したソングの名前を変更することはできません。

名前を変更したいソングを選びます。

ソングの選択については、13ページをご覧ください。



画面右上の[ツール]ボタンを押して、ツールページを表示させます。

間にる

つ や ゆ よ

以下の文字入力画面が表示されます。

MDR	دىپ	ング ツール RF6 001	【名前麦	更]							11711	a 20	w.
SmartMedia:/		LE LE	SON	G_00	1								
			あ	か	đ	た	ta	は	<u></u>	*	5	わ	8
J' SUNG_001		O MERLE	い	き	L	5	(5	υ	74		り	•	u
JP SUNG_002			Э	<	す	2	82	131	ti	Þ	3	æ	Э
			え	t	t	τ	ね	~	80	0	n	•	x
		レップスト編集	a	z	7	٢	Ø	(Ŧ	ŧ	Ł	3	h	æ
			かなき	1 1:	タカナ	ABO	;] _a	bc	記号			漢字多	
7189°- 作成	名「夏」コピー」 削除	変換 情報		1	(9))) (1))	ABC		abc	- 記号 (平明)			71583	t t
	$\int (,)$												

[◀][▶]ボタンまたはデータコントロールダイアルを使って、文字を入力し たい位置にカーソルを移動します。



文字種選択のボタンで、入力したい文字種を選びます。

	お	Ŀ.	IJ		そ		٤		の		(Ŧ	Ī	ŧ	j.	ጌ	Ē	3	Ī
ſ	かな	漢	J	カタ	カナ	j	АB	С	J	a	bс		記	」。 号]			1
l			(力5 (半	け (角)	J	AB	C	J	a	bc	Ī	記(半)	号	Ĵ			



入力したい文字を押します。

最大で25文字(半角文字の場合は50文字)まで入力することができます。文字種を 「かな漢」にしているときは、漢字変換もできます。漢字変換については次のページ をご覧ください。





名前を決めたら[OK]ボタンを押して名前を確定します。 文字入力画面が閉じ、ツールページの表示に戻ります。

> E. Ø ほ ŧ よ 3 2 h お ABC abc 記号 漢字変換 記号(半角) 削除 キャンセル ABC abc

入力した文字を削除するには:

画面右下の[削除]ボタンを押します。

カーソルの位置にある文字が一文字だけ削除されます。



漢字変換をするには:

入力した文字列が反転表示されているときに[漢字変換]ボタンを押します。 反転表示の範囲が漢字に変換されます。候補の漢字が出てこない場合は、[漢字変換] ボタンを何度か押すと、次の候補が表示されます。

- ・文節(反転表示の範囲)を変えたいときは、[◀][▶]ボタンまたはデータコント ロールダイアルを使います。
- ・反転表示の文字をすべて一度に消したいときは、[キャンセル]ボタンを押します。

2 [OK]ボタンを押すか、次の文字を入力すると、漢字が確定します。漢字に変換 された文字列をひらがなに戻したいときは、[削除]ボタンを押します。



ソングの表示順序は、記号→数 字→アルファベット→カナ/かな →漢字/その他の記号の順に並び ます。 ただし、先頭1文字目の半角*(ア スタリスク)はその対象になりま せん。 ソング名やフォルダー名をつけて[OK]ボタンを押すと、「入力されたファイル名は使用 できません」というメッセージが表示されることがあります。その場合は、別の名前を 入力し直してください。

また、コンピューターでファイル名やフォルダー名を編集するときには、以下のファイル名やフォルダー名は使用しないでください。エレクトーンの動作が不安定になったり、ファイルやフォルダーが自動的に削除されたりします(xxには数字が入ります)。

MDR_xx.EVT	E
MDR_xx.MID	Ν
MDR_xx.Bxx	F
MDR_xx.Vxx	S
SONG.NAM	

ELS_SONG.NAM MDR_xxx.MID REG_xxx.B00 SONG_xxx MDR_XXX.TMP T REG_XXX.TMP T ELS_SONG.TMP SONG_XXX.CO2

TMP TMP.E02

7 レジストレーションを保存する

演奏データを録音せずに、レジストレーションなどのデータだけを記録することもできます。ここで記録されるデータは、レジストレーションメモリーの設定やレジストレーションシフトだけでなく、ユーザーリズムや、リズムシーケンスデータ、そしてユーザーボイスやVAカスタムボイスも含まれます。

- 記録したいデータを設定し、記録させたいソングを選択します。 何も記録されていないソングを選びます。ソングの選択については、13ページを ご覧ください。
- 2 ソングページの[レジスト編集]ボタンを押します。 レジスト編集画面が表示されます。
- 3 [保存]ボタンを押します。 レジストレーションデータの保存中であることを示すメッセージが、画面上に表示 されます。メッセージが消えたあと、[閉じる]ボタンを押すと、レジストレーション が保存されたソングに、「SONG_XXX」というソング名が表示されます(XXXには 数字が入ります)。

1つのソングに複数のレジストレーションを保存する

1曲で16種類以上のレジストレーションを使用したい場合などに、1つのソングに複数の レジストレーションデータを記録できます。ここでは、すでにレジストレーションデータ が記録されているソングに、別のレジストレーションを追加する方法を説明します。

記録したいレジストレーションなどのデータを設定し、記録先となるソングを 選択します。

すでにレジストレーションが保存されているソングを選択します。ソングの選択については、13ページをご覧ください。

2 ソングページの[レジスト編集]ボタンを押します。 レジスト編集画面が表示されます。画面内にはあらかじめ記録されているレジスト レーション(REG_001など)が表示されています。 表示されているレジストレーションの一番下にある、空白のボタンを押します。

レジス	スト編集	関じる
		読み込むデータ
1	REG_001	<u> レジスト</u> ボイス K.8.P. 読み込み
ſ		ユーザー リズム シーケンス
	- Lun ISM	
	<u>\</u>	保存
		36-
V		satu

[保存]ボタンを押します。

あらかじめ保存されていたレジストレーションの下に、新しくレジストレーション が追加されます。

ソングを再生したときには、ここで一番上に表示されているレジストレーションが 読み込まれることになります。順番を入れ替えたい場合は、23ページ「ネクストレ ジスト機能の設定」をご覧ください。

レジストレーションだけを入れ替える

演奏データを変えることなく、録音されている曲のレジストレーションだけを変えること もできます。

演奏データの入っているソングを選択します。 ソングの選択については、13ページをご覧ください。

2 ソングページの[レジスト編集]ボタンを押します。 レジスト編集画面が表示されます。画面内にはソングに保存されているレジスト レーションが表示されます。

子 上書きしたいレジストレーションのボタンを押します。

【保存】ボタンを押します。 「上書きしますか?」と確認を求めるメッセージが表示されます。[上書き]を選ぶと、 レジストレーションデータが上書きされます。

ネクストレジスト機能の設定

16以上のレジストレーションを使用する曲を演奏する場合は、1つのソング内に複数の レジストレーションデータを保存しておき、それらをつぎつぎに呼び出して再生できます。 これをネクストレジスト機能といいます。



ネクストレジスト機能を使うには、以下のどちらかの設定をしておく必要があります。

- レジストレーションシフトの設定をユーザーモードにして、シフトエンドにネク ストレジストを選びます。
- レジストレーションシーケンスにネクストレジストを入力します。

1曲で使用したい複数のレジストレーションを、1つのソングに保存します。 レジストレーションの保存については、21ページの「1つのソングに複数のレジス トレーションを保存する」をご覧ください。

2 ソングページで、ネクストレジストを設定したいソングを選びます。 ソングの選択については13ページをご覧ください。

ネクストレジストを使用すると、 ユーザーボイスやVAカスタムボ イスを読み込むときに、発音し ない時間が生じることがありま す。



リズム再生中にネクストレジス トを使用すると、シーケンス データやユーザーリズムは切り 替わりません。

子 [レジスト編集]ボタンを押して、レジスト編集画面を表示させます。

MDR (22	ソク ツール REG_001	レジスト編集	[5 3 M
SmartMedia:/	Le 🗗		読み込むデータ
SONG_001	於演奏設定	1REG_001	レジスト ホイス K.B.P. 読み込み
♪ SONG_002		2 REG_002	コーザー リズム シーケンス
		3 REG_003	-65 %b
			(Q 7)
	143*314編集		28-
	11.7%/ III III		NER

レジストレーションを、呼び出したい順番に並べます。 画面上でレジストレーションを選択したあと、移動 ボタンや、[コピー]、 [削除]のボタンを使って、レジストレーションの順番を編集します。選択されたレジ ストレーションが移動/コピー /削除されます。



しジストレーションリスト

編集したいレジストレーションを選びます。選ばれたレジストレーションはオレンジ色に なります。5つ以上のレジストレーションが保存されている場合は、上下のスクロールボタ ン 🚺 🔽 で表示をスクロールできます。

❷ 移動

選ばれているレジストレーションを、1つずつ上または下に移動します。

❸ 読み込むデータ

選ばれているレジストレーションをパネル上に呼び出すときに、呼び出したいデータだけ をオンにします。25ページをご覧ください。

❹ 読み込み

選ばれているレジストレーションをパネル上に呼び出します。呼び出したあとで鍵盤を弾 くことで、レジストレーションの内容を確認できます。

❺ 保存

現在パネル上に呼び出されているレジストレーションを保存します。現在レジストレーションリスト(①)で選択されているレジストレーションに保存されます。

6 コピー

画面上で選ばれているレジストレーションをコピーします。コピーされたレジストレーションは、表示されているレジストレーションリストの一番下に追加されます。

❼ 削除

画面上で選ばれているレジストレーションを削除します。

画面右上の[閉じる]ボタンを押して、ネクストレジスト機能の編集を終了します。

8 レジストレーションなどのデータを読み込む

ソングに記録されたレジストレーションなどのデータは、簡単にエレクトーンに読み込む ことができます。また、レジストレーションに含まれている以下の5つの情報を、個別に読 み込むこともできます。

- ・レジスト:レジストレーション(レジストレーションメモリーに保存されている情報)
- **ユーザーボイス**: ユーザーボイス、VAカスタムボイス
- K.B.P.: キーボードパーカッション
- ·ユーザーリズム:ユーザーリズム
- •**シーケンス**: リズムシーケンス

メディアを挿入し、読み込みたいデータが入っているソングを選択します。 ソングの選択については、13ページをご覧ください。

2 ソングページの[レジスト編集]ボタンを押します。 レジスト編集画面が表示されます。

く 読み込みたいレジストレーションを選択します。

レジフ	へ ト 編集	
Δ)		読み込むデータ
1	REG_001	レジスト ユーザー K.B.P. 読み込み
2	REG_002	ユーザー リズム シーケンス
3	REG_003	
		保存
		0K-
7		NIER



読み込むデータの5つのボタンで、読み込みたいデータをオンにし、読み込みたく ないデータをオフにします。

通常は、すべてオンにしておきます。

レジス	スト編集		
			読み込むデータ
1	REG_001		レジスト ユーザー K.B.P. 読み込み
2	REG_002]	コーザー シーケンス
3	REG_003		
ſ		<u>ا</u> لا	
			בשב
V			\$11A



レシストレーションテータを読 み込む場合は、ここでの設定に 関係なくすべてのデータが読み 込まれます。 リズムの再生中にレジストレー ションを読み込むと、シーケン スデータやユーザーリズムは読 み込まれません。

[読み込み]ボタンを押します。

「読み込みますか?」というメッセージが表示されます。[読み込み]ボタンを押すと、 手順4で選んだデータが読み込まれます。

[キャンセル]ボタンを押すと、データを読み込まずに手順4の画面に戻ります。

画面右上の[閉じる]ボタンを押して、レジスト編集画面を閉じます。

プロテクトソングの選択中は、読み込むデータのボタンが使用できない場合があります (ボタンがグレーアウトされて、選べなくなります)。これは、プロテクトソングの著作 権を保護するためです。たとえば、プロテクトソングの一部分だけを別のソングに読み 込んで別のソングとして保存することはできません。

プロテクトソングについて

市販のソングデータの中には、誤消去防止、または著作権保護のため、上書きやコピー ができないようにプロテクトがかけられているものがあります。このようなソングデー タのことを「プロテクトソング」といいます。プロテクトソングは、ID付きのスマート メディアまたはUSBフラッシュメモリーに保存できます。

プロテクトソングも、自分で作成したソングと同じように再生することができますが、 XG変換やELS→EL変換はできません。また、プロテクトソングのレジストレーション を編集したり、上書き録音したりすることもできません。

プロテクトソングのレジストレーションを自分で変更したり、プロテクトソングのレジ ストレーションを使って演奏を録音したりするには、プロテクトソングを同じメディア /フォルダー内にコピーして、コピーしたソングを編集します(別のメディアや別のフォ ルダーにはコピーできません)。こうしてプロテクトソングをコピーした場合、もとの プロテクトソング(プロテクトオリジナルソング)を削除すると、コピーしたプロテクト ソング(プロテクト編集ソング)も使用できなくなりますので、プロテクトオリジナルソ ングを削除してしまわないようご注意ください。



<http://www.music-eclub.com/eldata/>をご覧ください。



9 ソングを再生する

MDRでは、エレクトーンで録音したソングだけでなく、市販のXGソングデータや、コン ピューターを使って作ったMIDIデータも再生することができます。

再生させたいソングを選択します。

ソングの選択については13ページをご覧ください。

2 画面の[▶](再生)ボタンを押してレジストレーションのデータを読み込みます。 画面上に砂時計が表示され、そのソングのレジストレーションデータを読み込んでいることを示します。

1つのソングに複数のレジストレーションを保存した場合は、レジスト編集画面で 一番上に設定されたレジストレーションが読み込まれます。

演奏データの入っていないソングの場合、レジストレーションの読み込みが終了す ると、ソング画面に戻ります。

レジストレーションデータの読み込みが終了すると、再生が自動的に始まります。 す。画面上には、時間の経過を表す数字が表示されます。

通常は、ソングに録音してあるすべてのパートが再生されますが、特定のパートだけを再生したり、ミュートしたりすることもできます。詳しくは29ページをご覧ください。

曲の最後まで再生されると自動的にストップします。曲の途中で[■](停止)ボタン を押して、再生を中止することもできます。

カスタムプレイ

レジストレーションやほかのデータを読み込まないで、演奏データだけを再生したい場合は、[▶](再生)ボタンの代わりに[カスタムプレイ]ボタンを押します。すぐに再生が スタートします。

▶ SONG_001 ▶ SONG_002 ↓97.2F編集 000:00 ▶ ◀◀ ▶▶ ● 3232,714 语音	SnartHedia:/	L TE
▶ SONG_002 ▷) ⁷ XHB # 00:00 ► ▲ ► ■ X20A7 ⁷ vf 18 88	SONG_001	▶ 演奏設定
レデル指集 00:00 ト く ト 和32571/1 清白	SONG_002	
レデル編集 00:00 ► ● M29ATU4 潜盘		
レデスト編集 000000 ト くく トト あれるとデレイ 諸田		
		レップスト編集
		X. Y
		\sim



ネクストレジスト機能の設定(23 ページ)



ソングの演奏設定(14ページ)

特定のパートだけを再生する

MDRでは、演奏データの特定のパートだけを再生することもできます。特定のパートの練習をする場合などに便利です。

.

特定のパートだけを再生するには:

ソングの再生中や演奏設定画面で、画面の各パートボタンを押して、再生したいパートを 「PLAY」、再生したくないパートを「OFF」に設定します。各パートボタンを押すたびに、 そのパートのPLAY/OFFが切り替わります。[パート保存]ボタンを押すと、各パートの再 生状態を保存できます。



ソングの演奏設定(14ページ)



XGソングデータで特定のパートだけを再生するには:

XGソングデータの再生中に、パート[XG]ボタンを押します。 下のXGパート設定画面が表示されます。





チャンネルボタン([CH1]など)を押して、各チャンネルの再生/ミュートを切り替えます。 ボタンを押すたびに、PLAY/OFFが切り替わります。再生したいパートを「PLAY」に、 再生したくないパートを「OFF」に設定します。

[すべて]ボタンを押すと、すべてのチャンネルのPLAY/OFFを一括して切り替えます。

スライダーを使って、各チャンネルの音量バランスを設定できます。チャンネルごとのボ リュームを0~100の範囲で調節します。 [すべて]のスライダーでは、ソング全体のボリュームを調節します。

早送り/巻戻し/一時停止

再生中に、早送りや巻戻し、一時停止などができます。

早送り/巻戻しをするには:

画面上の[▶▶](早送り)または[◀◀](巻戻し)ボタンを押したままにします。再生は中断され、
 画面の時間表示も、早送り/巻戻しに従って変化します。
 ボタンを押さえるのをやめても、再生は中断されたままです。早送り/巻き戻しをしたところから再生をスタートするには、[▶](再生)ボタンまたは[カスタムプレイ]ボタンを押してください。

一時停止するには:

再生中に、画面上の[■](一時停止)ボタンを押すと、ソングを一時停止します。 [▶](再生)または[カスタムプレイ]ボタンを押すと、一時停止したところから再生がスター トします。

再生テンポを変更する

メディアに録音されているデータを再生する場合には、パネル上のテンポダイアルではテンポ変更できません。ソングの再生テンポは、MDR画面で変更します。ソングの再生中でも、テンポを変更できます。

テンポを変更するには:

画面のテンポ ▲ ボタンやデータコントロールダイアルで、再生テンポを変更できます。50%~200%の範囲で設定できます。ソングに入っているもとのテンポが100%で表示され、それよりも大きい数値にすると速く、小さい数値にすると遅くなります。

MDR				(ソンク		/ール REG_001
SnartMedia:/SONG/					JAN B	建构 了
₩v₹ 1001	PLAY 上读館	パ PLAY 下線照 0FF ホーホート* パーヨッジョン	- ト PLAY マタル 課題 PLAY コントロー版	X6 /*-+保存	OFF	<u>•</u>
00:00				•	A2862.64	ito

変更したテンポをもとに戻すには:

ー度変更したテンポをもとの状態(100%)に戻すには、テンポ表示の下にあるテンポ [リセット]ボタンを押します。



リピート再生する

特定の曲だけを繰り返し再生したり、同じフォルダーに録音されている全部の曲を繰り返 し再生することができます。

リピート再生したいソングを選択します。 フォルダー内の全曲をリピート再生したい場合は、1曲目に再生したい曲を選択し ます。ソングの選択については13ページをご覧ください。

🧪 画面右上の[ソング]ボタンを押して、ソングページを表示させます。

📿 画面上の 🎤 🛪 🕉 画面上の

演奏設定画面が表示されます。



リピートボタンを押して、リピート再生の方法を選択します。 ボタンを押すたびにリピート再生の方法が変わります。

st Media:/	song/ NG_00	1				》 设定终7	·J
7	ンポ		19-	- ト		<u> </u>	
100%		PLAY 上就說	PLAY 下鍵線	PLAY ペダル	XG	OFF	リピートボ
100%		OFF	OFF	PLAY			
リセット	J	リード	キーあ [*] ート* ル*ーカッション	3740-8			
					ハ*- ト保存		



現在選ばれている曲を繰り返し再生します。



現在選ばれているフォルダー内のすべての曲を、順番に繰り返し再生します。

(ランダム) 現在選ばれているフォルダー内のすべての曲を、任意の順番で繰り返し再生します。

「FF」(停止) リピート再生しません。



画面右上の 🎤 🕸 🚓 ボタンを押して、画面を閉じます。

[▶](再生)ボタンを押すと、上で選んだ方法でリピート再生がスタートします。



~ 画面の[▶](再生)ボタンを押してソングを再生します。

演奏箇所に合わせてカーソルが移動し、自動的に譜めくりされます。

画面の[●](録音)ボタンを押して譜面を表示したまま録音することもできます。

画面の[サイズ変更]ボタンを押して譜面サイズを変更することもできます。[サイズ 変更]ボタンを押すたびに中→大→特大→小と変化し、さらに押すと中に戻ります。 ただし、録音中は譜面サイズを変更できません。

4
譜面を手でめくるには、ソングの再生を停止または一時停止し、画面のページ
[◀]または[▶]ボタンを押します。
前のページまたは次のページを表示することができます。また、ページ[▶]ボタン
は左フットスイッチに割り当てることができます(34ページ)。

譜面を閉じるには、画面の[譜面OFF] ボタンを押します。

ー部の譜面表示の許諾があるも のを除き、プロテクトソングで は譜面が表示されません。



変更した譜面サイズはレジスト レーションメモリーに記録して おくことはできません。

譜面の表示内容や設定を変更する

譜面に表示する内容を選んだり、表示/非表示を切り替えたりできます。また、左フットス イッチに譜めくりの機能を割り当てることができます。



譜面を表示します。

ソングの録音中は譜面設定を変 更することができません。[設定] ボタンは押せなくなります。

画面の[設定]ボタンを押します。

譜面設定画面が表示されます。



шШ NOTE mm|

音名を[移動ド]にすると、各調の 主音がドとして表示されます。

譜面に表示する内容を変更します。

[ON]または[OFF]ボタンで各パートの表示/非表示を選べます。ただし、上鍵盤、 下鍵盤、ペダル鍵盤のうち、少なくともひとつが自動的に[ON]になります。

音名は、[OFF]、[A, B, C]、[固定ド]、[移動ド]から選べます。

CH設定は、上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤に割り当てるチャンネルを[▲]または[▼] ボタンを使って選べます。また、[▲]または[▼]ボタンを押したあと、データコント ロールダイアルを回して選ぶこともできます。[AUTO]を選ぶと、曲に応じて自動 的にチャンネルが割り当てられます。

クオンタイズは、[▲]または[▼]ボタンを使って選べます。また、[▲]または[▼]ボ タンを押したあと、データコントロールダイアルを回して選ぶこともできます。細 かい音符を選ぶほど、譜面表示が正確になります。

ネクストページ レフトフットSWを[ON]にすると、左フットスイッチで次のページ へ譜めくりできます。譜面表示中に画面のページ[▶]ボタンを押すのと同じです。 左フットスイッチにリズム、グライド、ロータリースピーカーの機能を割り当てて いる場合は、この設定がオンのときに左フットスイッチを押すと、割り当てられて いる機能と譜めくりの両方が機能します。

🖊 変更が終わったら、画面の[閉じる]ボタンを押して譜面設定画面を閉じます。

12 その他の機能(ツール)を使う

ソングをコピーしたり削除したり、あるいはソングの容量を確認したりなどさまざまな機能があります。MDR画面のツールページで設定します。

ソングコピー

1つのソングのデータを、別のソングにコピーする機能です。1つのメディア内でも、異なったメディア間でもコピーできます(EL-900などのELシリーズのソングはコピーできません)。メディアの容量が足りない場合や、フォルダー内に100曲のソングが存在している場合は、コピーは実行されませんので、あらかじめ十分空き容量があることをご確認ください。

プロテクトソングの移動

プロテクトソングは、同一フォルダー内ではコピーできますが、別のメディアや別の フォルダーにはコピーできません。コピー先として別のメディアやフォルダーを指定す ると「移動します。」というメッセージが表示され、[移動]ボタンを押すと、プロテク トオリジナルソングとプロテクト編集ソングがいっしょに移動されます(元のフォル ダーからはなくなります)。この場合、コピーではなく移動となります。

ソングコピーの一般的な操作:

同じメディア内でも、異なるメディア間でもソングコピーできます。コピーしたいソング が入っているメディアと、コピー先となるメディアをあらかじめ挿入しておいてください。 <**例**>

1枚のメディア内でコピーする場合

ソングの入ったメディアを挿入します。

スマートメディア←→USBフラッシュメモリー間でコピーする場合

スマートメディアと、USBフラッシュメモリーの両方を挿入します。

USBフラッシュメモリーから別のUSBフラッシュメモリーにコピーする場合

コピーしたいソングが入っているUSBフラッシュメモリーと、コピー先となるUSBフラッシュメモリーの両方をUSB TO DEVICE端子に挿入します。USB TO DEVICE端子が足りない場合は、セルフパワーのUSBハブをお使いください。

スマートメディアから別のスマートメディアにコピーする場合

ソングコピーの方法は、以下の手順とは異なります。36ページの「スマートメディアから 別のスマートメディアにソングコピーをする場合」をご覧ください。

1 コピーしたいソングを選択します。

ソングの選択については13ページをご覧ください。



画面右上の[ツール]ボタンを押して、ツールページを表示させます。

使用できるUSBハブについて は、インターネット上のヤマハ エレクトーンホームページ <http://electone.jp/>でご確 認ください。



画面の[コピー]ボタンを押します。

(必要に応じて)ソングのコピー先を変更します。

コピー先の変更については13ページをご覧ください。

[実行]ボタンを押してソングコピーを実行します。[キャンセル]または[閉じる] ボタンを押すと、コピーせずにもとの画面に戻ります。

コピー先のソング名は、もとのソング名と同じになります。コピー先に、もとのソ ングと同名のソングがある場合、コピーしたソングは、「コピー元ソング名_XXX (XXXには数字が入ります)」というソング名になります。ソング名を変更したい場 合は、18ページをご覧ください。

XGソングデータの場合は、コピー先にある同名のXGソングを上書きするかどうか確認を求めるメッセージが表示されます。[上書き]を選ぶと、コピー先のXGソングデータが上書きされます。

スマートメディアから別のスマートメディアにソングコピーをする場合:

35ページの1~3の操作を行ないます。

グレー表示になって押せなくなるまで、 📑 💵 ボタンを数回押して、メディ アのリストを表示させます。

「MEMORY」を選びます。

SmartMedia SmartMedia USB 01 MEMORY	一先選択		H
SmartMedia			L TE
	📼 SmartMedia		⊡? ¢€
MEMORY	😅 USB 01	j	
	MEMORY		

コピー中(またはプロテクトソン グの移動中)は、絶対に電源を 切ったり、メディアを抜いたり しないでください。データが失 われるおそれがあります。

プロテクトソングを同一フォル ダー内にコピーした場合、 コピー先のソングはプロテクト 編集ソングになります。



USB TO DEVICE端子の空きが ひとつしかない場合は、この方 法でUSBフラッシュメモリーか らUSBフラッシュメモリーに コピーできます。
4 [実行]ボタンを押します。
 コピーしたいソングが、エレクトーンの内部メモリーにコピーされます。画面には「コピー元のメディアを抜いてください」というメッセージが表示されます。
 5 コピー元のメディアを抜きます。
 コピー元のメディアを抜くと、画面には「コピー先のメディアを挿入してください」と表示されます。

コピー先のメディアを挿入口に差し込みます。

7 ソングのコピー先を指定します。

コピー先の指定については13ページをご覧ください。

コピー先の指定が終わったら、[実行]ボタンを押してソングコピーを実行します。[キャンセル]または[閉じる]ボタンを押すと、コピーせずにもとの画面に戻ります。

コピー先のソング名は、もとのソング名と同じになります。コピー先に、もとのソ ングと同名のソングがある場合、コピーしたソングは、「コピー元ソング名_XXX (XXXには数字が入ります)」というソング名になります。

XGソングデータの場合は、コピー先にある同名のXGソングを上書きするかどうか 確認を求めるメッセージが表示されます。[上書き]を選ぶと、コピー先のXGソング データが上書きされます。

ソング名を変更したい場合は、18ページをご覧ください。

データの大きいプロテクトソングを移動する場合

別のスマートメディアにプロテクトソングを移動する場合は、移動したいソングをエレクトーンの内部メモリー (MEMORY)にいったん移動したあとで、移動先のスマートメディアに移します。しかし、プロテクトソングの容量が大きい場合には、内部メモリーに入りきらないことがあります。この場合は、何回かに分けてソングを移動することになり、手順6から9を繰り返す必要があります。画面の指示に従って操作してください。

ソングの削除

ソング内のデータを削除します。レジストレーションデータだけ、演奏データだけを削除 したり、ソング自体を削除したりできます。ここで説明する方法は、ELS-01/01C/01X で作成したレジストレーションデータや演奏データ、XGソングの削除です(EL-900などの ELシリーズのソングは、削除できません)。

削除したいデータの入っているソングを選択します。 ソングの選択については13ページをご覧ください。

画面右上の[ツール]ボタンを押して、ツールページを表示させます。

コピーを中止したい場合は、 [キャンセル]ボタンを押します。



プロテクトソングの移動中(手順 4~8)は、絶対に電源を切らない でください。データが失われる おそれがあります。

プロテクトソングの移動中に [キャンセル]を選ぶと、「移動中 のソングを元の場所に戻します。 メディアを抜いてください。」と いうメッセージが表示されます。 手順4で内部メモリーに移動した ソングを、再び元のメディアに 戻します。画面の指示に従って 操作してください。

) 画面の[削除]ボタンを押します。

「削除しますか?」というメッセージが表示されます。 削除したいソングのソング名が画面に表示されていることを確認します。削除する ソングを変更したい場合は、[キャンセル]ボタンを押して、ソングを選び直します。

1 削除したいデータ(レジストレーション、ソング)のボタンを押すと、選択した データが削除されます。

				1.
SONG_001 を削除しますか	?			Ţ
全体前除	レジスト のみ前除	演奏のみ削除	キャンセル	
	SONG_001 を削除しますか 全体削除 名	SONG_001 を削除しますか? 全体削除 レジスト のみ削除 名前変更 コピー	SONG_001 を削除しますか? 全体削除 レジスト 演奏 のみ削除 のみ削除 名前変更 コピー 削除	SONG_001 を削除しますか? 全体削除 レジスト 演奏 キャンセル のみ削除 のみ削除 キャンセル 名前変更 コピー 削除 変換

- ・全体削除:ソング全体を削除します。
- ・レジストのみ削除:ソング内のレジストレーションデータだけを削除します。
- ・演奏のみ削除:ソング内の演奏データだけを削除します。

[キャンセル]を押すと削除せずにもとの画面に戻ります。

削除したいデータがフォルダー、レジストレーションだけのソング、演奏データ だけのソング、プロテクトソング、XGソングの場合:

MDR			8	<u>(ソンク</u>		ツール
Snarti	XGSONG001 を削除しま	すか?				a:
7169*~		化动态面			++>t	2.11

[削除]を選ぶと削除が実行されます。[キャンセル]を選ぶと、削除せずにもとの画面に戻ります。

XG変換機能

XG変換機能は、ELS-01/01C/01Xで演奏したデータ(録音したソング)を、XG機器など で再生できるように変換する機能です。ただし、XGソングに変換した場合、音がもとの データと異なって聞こえることがあります。 変換する場合は、メディアの空き容量が十分あることをあらかじめご確認ください。プロ テクトソングはXG変換できません。

XG変換したいソングを選択します。

ソングの選択については13ページをご覧ください。

▶ 画面右上の[ツール]ボタンを押して、ツールページを表示させます。

🥎 [変換]ボタンを押します。

「どの変換を行いますか?」というメッセージが表示されます。



[XG変換]ボタンを押します。

下の変換先選択画面が表示されます。

SONG_001	



保存先の変更については13ページをご覧ください。

🧶 [変換実行]ボタンを押します。

画面に「変換後のデータを確認しています・・・」というメッセージが表示され、 ソングの再生が始まります(エレクトーンのXG音源で再生します)。最後まで再生す ると、元の画面に戻ります。



変換後のデータ確認中に鍵盤を 弾いたり、パネルスイッチを押 したりすると、それらの操作が 変換後のXGソング内に記録され ます。



ELS→EL変換機能

プロテクトソングについて(26 ページ)

ユーザーリズムはELS→EL変換 できません。



ELシリーズの形式に変換したいソングを選びます。

ソングの選択については13ページをご覧ください。

) ツールページで[変換]ボタンを押します。

「どの変換を行いますか?」というメッセージが表示されます。





き換えられます。

ソング名に、ELシリーズで使用

できない文字(全角文字など)が 入っている場合、ELシリーズで 使用できない文字は「??」に置 画面の[ELS→EL変換]ボタンを押します。

複数のレジストレーションデータが入っているソングを変換する場合は、レジスト レーションデータの数と同じだけの空きソングが必要です。

フロッピーディスクを挿入口に差し込み、画面上の[変換実行]ボタンを押します。 ELS→EL変換が実行されます。フロッピーディスクの容量が足りない場合は、ELS →EL変換はできません(画面にエラーメッセージが表示され、処理が中断されます)。

EL→ELS変換機能

フロッピーディスクに入っているEL-900などのELシリーズ用のソングを、このエレクトーンで使用できるデータに変換して、スマートメディアやUSBフラッシュメモリーに保存します。ELS-01をお使いの場合は、別売のフロッピーディスクドライブ(UD-FD01など)を取り付ける必要があります。市販の楽譜に付属しているELシリーズ用のデータを、 ELS-01/01C/01X用に変換することもできます。ただし、音やテンポなどがもとのデータと異なったり、ネクストソングがうまく変換されない場合があります。

市販のデータは、1つのソングにつき1度だけELS変換できます。変換したあとも、フロッ ピーディスクはそのまま使用できます。

フロッピーディスクを挿入口に差し込み、ELS変換をしたいソングを選びます。

ソングの選択については13ページをご覧ください。

🔿 ツールページで[変換]ボタンを押します。

「EL→ELS変換を実行しますか?」というメッセージが表示されます。



3 画面の[EL→ELS変換]ボタンを押して表示される画面で、変換後のソングの保 存先を指定します。

変換後のデータをこのエレクトーンで使用するためには、変換先をスマートメディ アまたはUSBフラッシュメモリーにしておく必要があります。

🖌 画面上の[変換実行]ボタンを押します。

EL→ELS変換が実行されます。変換先メディアの容量が足りない場合は、画面に 「変換できませんでした」というメッセージが表示され、処理が中断されます。

市販のデータをEL→ELS変換す る場合は、フロッピーディスク のライトプロテクトタブをオフ (記録可能な状態)にしてください。

市販のデータをEL→ELS変換す る場合は、ID付きのスマートメ ディアまたはUSBフラッシュメ モリーが必要です。

ソング容量/メディアの残量の確認

ツールページで[情報]ボタンを押すと、メディアが選択されているときは空き容量(残量) を、ソングが選択されているときは容量や曲名、作曲者名などを表示します。表示される 内容は、ソングによって異なります。

MDR	ソング ツール RE6_001	MDR	(VV)	<u>ツール</u> REG_001
SmartHedia:/	Le Fe	Smartl		
SONG_001	20 演奏設定		ソング容量: 141.39 KB	定
J' SUNG_002				
				av 1
	レジ*21-編集			
7169~- 作成 2前麦更 二	コピー 削除 変換 情報	7189作成	名前変更 コピー 一 削除	変換 情報
	Ý,			
		\mathcal{O}		

2 レジストレーションメモリーのコピー機能追加

レジストレーションをコピーする

ボイスディスプレイの3ページ目には、レジストレーションメモリーのナンバーに記録され ているレジストレーションを、レジストセクション(音群やリズム、キーボードパーカッ ション)単位で別のレジストレーションナンバーにコピーする機能があります(レジストセク ションコピー)。レジストレーションナンバー 4の上鍵盤の音を1と同じにしたい、といっ た場合にこの機能を使うと便利です。

パネル上の[VOICE DISPLAY]ボタンを押して、ボイスディスプレイを表示させます。



一 画面右上の[3]ボタンを押して3ページ目を表示させます。

3 画面のコピー元レジストナンバーボタンを押してデータのコピー元となるレジ ストレーションナンバーを選びます。

[閉じる]ボタンを選択すると、操作をキャンセルして、前の画面に戻ります。



レジストレーションナンバー

コピー 実行

4 画面のコピー元セクションボタンを押してコピーするレジストセクションを選びます。

[閉じる]ボタンを選択すると、操作をキャンセルして、前の画面に戻ります。



セクション

レジストセクションについては、 コピー先を変更したあとでコ ピー元を変更すると、コピー先 が自動的にコピー元と同じに変 わることがあります。

同様にコピー先のレジストレーションナンバーとレジストセクションを選びま す。

コピー先で選べるレジストセクションは、コピー元で選んだレジストセクションに よって変わります。

画面右下の[コピー実行]ボタンを押します。

以下の画面が表示され、コピーを実行するかどうか確認を求めてきます。



[コピー]ボタンを選択すると、レジストレーションのコピーを実行し、「コピー しました!!」という操作完了のメッセージが一時的に表示されます。 [キャンセル]ボタンを選択すると、コピーせずにもとの画面に戻ります。

ボイスディスプレイ

電源を入れたときに表示される画面がボイスディスプレイです。ボイスディスプレイでは、 各鍵盤に設定されているボイスや、リズム、右フットスイッチ(レジストレーションシフト) などのあらゆるデータを確認したり、各音群のミュート設定をしたりできる、エレクトー ンの最も基本的な画面といえます。

ここでは、ボイスディスプレイの見方を説明します。操作方法については、エレクトーン の取扱説明書をご覧ください。

ボイスディスプレイを表示させるには:

電源を入れたときには必ずボイスディスプレイが表示されます。ほかの画面からボイス ディスプレイに移動する場合は、[VOICE DISPLAY]ボタンを押します。



ボイスディスプレイには、3つのページがあります。画面右上の[1]~[3]ボタンでページを 切り替えます。

画面切り替え

ボイスディスプレイ 【ページ1】 ボイスディスプレイ 上球線ボイス1 上球線ボイス2 リード



❶ ボイス名表示

各音群に現在選ばれているボイス名が表示されます。また、それぞれのボイス名を押すことで、特定の音群だけをミュート(消音)することもできます。ボイス名を押すたびに、音が出る状態とミュートとが切り替わります。

❷ リズム名表示

現在選ばれているリズム名が表示されます。

④ A.B.C.モード表示

A.B.C. (オートベースコード)のモードが表示されます。

④ テンポ表示

現在のリズムのテンポが表示されます。

❺ バー /ビート表示

リズムの状態(停止中、待機中、または再生中の小節/拍)を表示します。

・ レジストレーションシフト表示

レジストレーションシフトの状態を表示します。

ボイスディスプレイ 【ページ2】

	— ‡	活変	更							\subseteq		\subset	2	\subset	3
ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
					Ε							Ε			
						H	H								
/	(ラメ・	-9-	=			_		_		_	В	e ff	1.0000	_	_
	-אני	ーブ						1	+	t	ット	đ٨	CON		ON
	タイ	1							2	ž	IR	すべ	て OFF		FF

あるパラメーター (リバーブ、ボリューム、パンなど)の、各レジストレーションメモリー での値を確認できる画面です。また、複数のレジストレーションメモリーの同ーパラメー ターを、同時に変更することもできます。

ボイスディスプレイ 【ページ3】

📕 レジス	- セクションコ b	<u>- </u>	2 3
	3e-	-元	
	レジスト	セクション	
	1	上鍵盤1	
	•		
	שני	- 先	
	<u> </u>	セクション	
	1	上鍵盤1	コピー 実行

レジストレーションメモリーのナンバーに記録されているレジストレーションをセクション単位で別のレジストレーションナンバーにコピーすることができます。

リズムシーケンスを編集する

シーケンスプログラムの保存先に別のシーケンスナンバーの内容をコピーしたり、保存先 のシーケンスプログラムの最後に別のシーケンスナンバーの内容を追加したりすることが できます。



シーケンス画面のメニューページで、画面上の編集[コピー]または編集[追加] ボタンを押します。

画面上に、コピー元選択画面または追加元選択画面が表示されます。

2 シーケンスプログラムの保存先にコピーまたは追加したいシーケンスナンバー を選びます。

画面上に、コピー /追加してもよいかどうか確認を求めるメッセージが表示されます。

🥎 [コピー]または[追加]を押すとコピー /追加が実行されます。

[キャンセル]を押すとコピー /追加せずにもとの画面に戻ります。



コピー先の最後のセクションがエ ンディングのときにシーケンスの 追加を選択すると、コピー先の最 後のセクションは自動的にメイン Aに変更され、その後ろにシーケ ンスが追加されます。

4 サステインの設定内容変更

サステイン

サステインは、鍵盤から指をはなしたあとに音に余韻を与える効果です。音群ごとに、 オン/オフしたりサステインの長さを調節したりできます。 また、ニーレバーを使ってサステインのオン/オフを切り替えることもできます。サステイ ンはリードボイスにはかかりません。

サステインを設定するには:

パネル上の左端にあるSUSTAIN (サステイン)ボタンを押します。画面上 にサステインレングス画面が現れます。

サステインボタンを押すと、ボタンの真上のランプが点灯し、サステイン がオンの状態であることを示します。もう一度押すことで、ランプは消え、 サステインはオフになります。ランプが消えた状態ではサステインはかか りませんので、演奏前には、サステインをかけたい鍵盤のサステインボタ ンがオンの状態になっているか、必ず確認しましょう。



サステインレングス画面

■ サス・	テイン	レングス				
上發驗1 上前	<u>建能2</u> 11.11.11	う 下鍵盤1	下鍵盤2	L.768">	ペダル1	ペダル 2
					6	6
				L		

ここでサステインの長さを設定します。

各音群にかけるサステインの長さは、スライダーで調節します。レベルを一番上(ホールド)

ホールドの状態で鍵盤から指を 離している間に音色を変えると、 次に弾いた鍵盤から新しい音色 になります。

まで上げると、オルガンやシンセなど一部のボイスは、鍵盤から指を離しても、ずっと音 は鳴り続けます。 設定範囲:0~12、ホールド



サステインのレベルをOにする と、サステインの長さはOになり ます。 サステインをオフにすると、ボ イスごとにあらかじめ設定され ているサステインの長さになり ます。 ELS-O1C/O1Xにはオルガンフルート機能があり、多彩なスタイルのオリジナルオルガンサウンドをつくることができます。伝統的なオルガンと同じように、フッテージレバーで各フッテージのレベルを上げ下げしたり、パーカッシブサウンドを加えたりして、ゴージャスなフルオルガンサウンドが思いどおりにつくれます。9種類のフルートフッテージと3種類のアタックフッテージを組み合わせて、さまざまなオルガンサウンドをつくってみましょう。

[U. ORGAN FLUTES]ボタン(上鍵盤のオルガンフルート)、または
 [L. ORGAN FLUTES]ボタン(下鍵盤のオルガンフルート)を押します。
 ボタンを押すとボタンのランプが点灯し、フルートフッテージの画面が表示されます。
 なお、ELS-01にはオルガンフルート機能はないので、[U. ORGAN FLUTES]ボタンや[L. ORGAN FLUTES]ボタンを押しても何も起こりません。



ヘ オルガンフルートの波形を設定します。

タイプボタンでオルガンフルートの波形を選択します。[サイン]ボタンを選ぶと、 サイン波(正弦波)のクリアな音質が、[ビンテージ]ボタンを選ぶと、やや歪んだ、 特徴ある音質が得られます。

フッテージレバーを動かして、各フッテージのレベルを0~8の9段階に調整します。

フッテージレバーは指で直接触って操作します。データコントロールダイアルでは 操作できません。ミックスされた音色の変化を確かめながら、各フッテージのバラ ンスを調整しましょう。 右上の[アタック/ボリューム]ボタンを押してアタック/ボリュームページを表示させ、全体の音量やアタックなどを設定します。

```
アタック/ボリュームページ
```



0 アタック

パーカッシブ音の設定をします。4'、2 2/3'、2'のレバーでは、それぞれのアタックフッ テージを設定します。

レングスのレバーでアタック音の長さを設定します。

❷ レスポンス

鍵盤を弾いたときのレスポンス(応答)の速さを設定します。レスポンスのレバーを下に引く ほど、発音は遅くなり、パイプオルガンのような効果が得られます。

8 モード

弾いた鍵盤のどの音にアタックを付けるかを決定します。この設定は上鍵盤/下鍵盤で共通 です。

ファースト:最初に弾いた鍵盤の音にだけアタックが付きます。最初に弾いた鍵盤 を押さえている間は、アタックはほかの音には付きません。

イーチ:全部の音にアタックが付きます。

④ リバーブ

オルガンサウンドにかかるリバーブの量を設定します。ここでリバーブを最大にしても、 パネル上のリバーブ量を上げないと、リバーブ効果は得られません。

⑤ ボリューム

オルガンフルートの全体の音量を決定します。各フッテージのバランスを保ったままで音 量を変更できます。ここが0になっていると、オルガンフルートの音は出ません。 右上の[エフェクト]ボタンを押してエフェクトページを表示させ、ロータリー スピーカーに関する詳細を設定します。

エフェクトページ



● エフェクトタイプ

オルガンサウンドに固有の、ロータリースピーカー(トレモロ効果)の設定をします。エフェ エフェクトリスト クトタイプのボタンを押すと、ロータリースピーカーのエフェクトタイプ一覧が画面に表 示されます。一覧の中から使用したいエフェクトタイプを選びます。



ロータリースピーカー (52ページ)

[閉じる]ボタンを押すと、エフェクトタイプを選択せずに一覧表示を閉じます。



エフェクトタイプを選びます

Q エフェクトパラメーター

選択しているエフェクトタイプに応じたパラメーターが設定されます。

もう一度、[U. ORGAN FLUTES]または[L. ORGAN FLUTES]ボタンを押す と、ボタンのランプは消え、オルガンフルート機能は終了します。

ロータリースピーカー

ロータリースピーカーは、スピーカーを回転させて得られるような、豊かで広がりのある 効果(トレモロ効果)をつくり出すエフェクトです。パネル上の[ROTARY SP SPEED]ボタ ンや、左のフットスイッチを使って、演奏中もリアルタイムで効果をオン/オフできます。 ロータリースピーカーは、パネル面の[ROTARY SP SPEED]ボタンをオンにするだけで は、効果は得られません。以下の手順で設定する必要があります。

トレモロ効果をかけたい音群、またはオルガンフルート音色で、エフェクトに ロータリースピーカーを選択します。

各音群のボイスにロータリースピーカーを設定する場合は、ボイスコンディション 画面の3ページ目にあるエフェクト1ボタン、または4ページ目にあるエフェクト2 ボタンで設定します。



ここでロータリースピーカーを選択します

オルガンフルート音色の場合は、エフェクトページのエフェクトタイプボタンで設定します。詳しくは51ページをご覧ください。

ここで[OFF]以外のエフェクトタイプを選択します

T772	トタイプ)					
XG D-	xy- SP	i					
		<u>,</u>	パラメーター				-
EQ D- 79779- 31587	EQ D- うイン -4dB	EQ ミトニル フリクンシー 900Hz	EQ ミトール カーイン ー12dB	EQ // 79777- 3.6kHz	EQ パイ ゲイン -10dR		-
515/12		·	· []·		1000	ŀ	
			1 1				

🥎 ロータリースピーカーの回転のスピードやモードを設定します。

 パネル上の[ROTARY SP SPEED]ボタンを押します。
 画面上にロータリースピーカー画面が表示されます。ここでの設定は、全音群に 共通です。



0 スピード

ロータリースピーカーの回転するスピードを調節します。 設定範囲:2.69Hz~39.7Hz

2 モード

パネル上の[ROTARY SP SPEED]ボタンがオフのときのロータリースピーカーの状態を 設定します。スローを選択すると、ロータリースピーカーの回転が遅く(0.6Hz)なり、コー ラスのような効果がかかります。ストップを選択すると、スピーカーの回転が止まったよ うな効果が得られます。

これで、ロータリースピーカーをあらかじめ設定し、演奏しながら簡単にロータリース ピーカーの切り替えする準備が整いました。

3 [ROTARY SP SPEED]ボタンやフットスイッチで、トレモロ効果をオン/オフします。

[ROTARY SP SPEED]ボタンをオン/オフしたり、フットスイッチを使ったりして、トレモロ効果をコントロールしてください。(ロータリースピーカーは、あらかじめ設定しておけば、フットスイッチでもコントロールできます。)

6 ディスエーブルモード機能追加

レジストレーションを呼び出す

呼び出したいナンバーボタンを押すだけで、記録したレジストレーションをパネル上に呼び出せます。

- 手でボタンを押すのではなく、フットスイッチを使ってレジストレーションを呼び出す 方法(レジストレーションシフト)もあります。
- リズムシーケンスの一部として、あらかじめレジストレーションの変更をプログラムしておく機能(レジストレーションシーケンス)もあります。

ディスエーブルボタンについて: ナンバーボタンを押してレジストレーションを切り替えると、リズムも同時に変わりま

す。しかし、レジストレーションメモリー右端の[D.] (ディスエーブル)ボタンをオンに することで、リズムの種類やテンポなどは変えずに、レジストレーションメモリー機能 でボイスを切り替えながら演奏することができます。一定のテンポで演奏を練習したい ときなどに便利です。



[D.](ディスエーブル)ボタンをオンにしたときの動作は、ディスエーブルモードによっ て異なります。ディスエーブルモードについては55ページの「ディスエーブルモード を選ぶには」をご覧ください。



ノーマル

このモードのときに、[D.](ディスエーブル)ボタンをオンにすると、レジストレーショ ンメモリーを切り替えても以下の機能は変わりません。 ・リズムの種類、セクション、テンポ、ボリューム、リバーブ ・リズムのリバーブタイム ・アカンパニメントのボリューム、リバーブ、パートのオン/オフ ・オートベースコードのモード、メモリー ・メロディーオンコードのモード、ニーレバーコントロール ・セカンドエクスプレッションのテンポコントロールのオン/オフ **テンポ**

このモードのときに、[D.](ディスエーブル)ボタンをオンにすると、レジストレーショ ンメモリーを切り替えてもリズムのテンポが変わりません。

7 ボイスエディット画面変更

AWM音色のエディット

AWM音色のエディットは、ボイスエディット画面のAWMページとLAYER (レイヤー) ページで行ないます。AWMページは、ボイス全体の音質を調整するためのページで、 LAYERページは、ボイスを構成する各エレメントを細かくエディットするためのページ です。

AWMページ

■ # [_	ドイスエディット 上鍵盤ボイス1]		AWM	LAYER	(VA)	保存
7-7*	イオン 1					
	オシレーター ポイス	IVXXI	-			
AUN1	93-5°487 1	1	EQ	EQ	EQ	EQ
AUN2	P]-j*(d) 1	2	80Hz	0-9-17	10.0kHz	0db
AWNS	Siloneo 9467X	1	: []:			::
AUN4	Silence 94652			-		·
VA						
T						
U	2		3		4	,

0 エレメントオン/オフ

AWM音源の4つのエレメントとVA音源を表しています。押すたびに、オンとオフ(消音)が 切り替わります(オフにしたエレメントはグレー表示になります)。AWM音色をエディット している場合、[VA]ボタンをオンにすることはできません。

❷ ボイス/エレメント

エディット中のエレメントが表示されます。上のイラストでは、AWM1にアコーディオン 1のエレメント1が、AWM2にアコーディオン1のエレメント2が入っていて、AWM3と AWM4にはボイスが割り当てられていません。

別のボイスで使われているエレメントを呼び出して、現在エディットしているエレメント と差し替えることもできます。ボイス、エレメントのそれぞれのボタンを押すと、ボイス メニュー、エレメントメニューが表示されるので、その中から使用したいものを選びます。 ボイスを変更すると、対応するエレメントは変更後のボイスが持っている先頭のエレメン ト(通常はエレメント1)に自動的に変更されます。

⑥ EQローフリケンシー /EQローゲイン

低い周波数の音量を変化させます。フリケンシースライダーでは、音量変化させたい周波数を32Hz~2.0kHzの範囲で設定します。ゲインスライダーでは、フリケンシースライダーで設定した周波数付近の信号量を、-12dB~+12dBの範囲で調節します(+6dBでもとの音量の倍、-6dBでもとの音量の半分になります)。

④ EQハイフリケンシー /EQハイゲイン

高い周波数の音量を変化させます。フリケンシースライダーでは、音量変化させたい周波 数を500Hz~16.0kHzの範囲で設定します。ゲインスライダーでは、フリケンシースラ イダーで設定した周波数付近の信号量を、-12dB~+12dBの範囲で調節します(+6dB でもとの音量の倍、-6dBでもとの音量の半分になります)。

EQ (イコライザー)

EQ (イコライザー)は、音をいくつかの周波数帯域に分けて、各帯域のレベル(ゲイン) を上げ下げすることで、音質を補正します。もともとは、アンプやスピーカー、部屋の 特性に合わせて、音場環境を補正する(たとえば、低音が響きすぎる部屋では低い周波 数の音を小さくする)ためのものでしたが、イコライザーを使って積極的な音作りを行 なうこともできます。クラシックはより繊細に、ポップスはより明確に、ロックはより ダイナミックに、というように、曲の特長を引き出すのに欠かせないエフェクトです。 このエレクトーンのイコライザーは、ロー (低周波数)、ハイ(高周波数)の2つの帯域の 設定ができます。

LAYERページ



● エレメント選択

エディットしたいエレメントを選択します。

② エレメントオン/オフ

AWM音源の4つのエレメントとVA音源を表しています。押すたびに、オンとオフ(消音)が 切り替わります(オフにしたエレメントはグレー表示になります)。エディット中のエレメン トだけをオンにしておくと、エディット内容が確認しやすくなります。ただし、いくつか のエレメントをオフにすると、鍵域や弾く強さによっては音が出ないこともあります。

❸ 画面切り替え

LAYERページは、3つの画面で構成されています。 🗾 ▶ ボタンで画面を切り替えられ ます。それぞれの画面の内容は、以下のとおりです。

LAYERページ【1】



0 レベル

エレメントの出力レベルを設定します。 設定範囲:0~127

❷ ノートリミット

エディット中のエレメントを発音させる音域を設定します。ここで設定した最低音(ロー) と最高音(ハイ)の間でのみ発音します。最高音(ハイ)を最低音(ロー)より低く設定すること はできません。エレメントによっては、設定したとおりにノートリミットの効果がかから ないものもあります。 設定範囲:C-2~G8

8パン

ステレオ出力によるエレメントの左右の位置を設定します。 設定範囲:L64~R63

LAYERページ【2】



0 ノートシフト

現在選択しているエレメントのピッチを、半音単位で移調します。 設定範囲:-64~+63

④ チューンファイン

現在選択しているエレメントのピッチを、微調整します。 設定範囲:-64~+63

⑥ アタックレート

鍵盤を押さえたとき、Oから最大の出力レベルに達するまでの速さを設定します。値が大き いほど、音の立ち上がりが速くなります。 設定範囲:0~127



(62ページ)

④ リリースレート

鍵盤から指をはなしたあと、出力レベルがOになるまでの速さを設定します。値が大きい ほど、音が消えるまでの時間が短くなります。 設定範囲:1~127

⑤ カットオフフリケンシー

フィルターのカットオフ周波数(フリケンシー)を設定します。 設定範囲:9600~24000セント

6 レゾナンス

カットオフ周波数付近の倍音(高調波)を強めて、クセのある音色にします。値を大きくする ほど、倍音が強調されます。エレメントによっては、効果のかかりにくいものがあります。 設定範囲:16~140

フィルター (カットオフ周波数とレゾナンス)

フィルターとは、ある特定の周波数帯だけを通過させて、ほかの周波数の信号を出力さ せない機構です。このエレクトーンでは、低い周波数だけを通過させ、高い周波数は出 力させないタイプのフィルター (ローパスフィルター)を採用しています。



どの周波数までを通過させるかを決めるのがカットオフ周波数です。カットオフ周波数 以下の信号は通過させ、それ以外の高周波はカットします。一般的には、カットオフ周 波数を下げるほど、高音がたくさんカットされるので音色は暗くなります。また、カッ トオフ周波数付近の信号レベルを強める働きをレゾナンスといい、音にクセをつける効 果があります。

LAYERページ【3】



❶ LFOウェーブ

LFOから発振される出力波形(ウェーブ)を選択します。61ページをご覧ください。

Ø LFOスピード

LFOから発振される信号の速さを設定します。値が大きいほど、スピードが上がります。 設定範囲:2~93

⑧ LFOピッチ

LFOでピッチを周期的に変化させます。値が大きいほど、ピッチの変化幅が大きくなります。値をOにすると、ピッチは変化しません。 設定範囲:0~400

LFOでフィルターのカットオフ周波数(フリケンシー)を周期的に変化させます。値が大きいほど、変化幅が大きくなります。値をOにすると、周波数は変化しません。 設定範囲:0~4800セント

⑤ LFOアンプリチュード

LFOで音量を周期的に変化させます。値が大きいほど、音量の変化幅が大きくなります。 値をOにすると、音量は変化しません。 設定範囲:0~128

上記①~⑤のパラメーターをエディットしてつくったユーザーボイスは、ビブラートをプリセットに設定して使用することをおすすめします。ビブラートをユーザーに設定すると、 ビブラートのデプスやスピードの影響で、LFOの効果がわかりにくくなる場合があります。



VA音色のエディット(ELS-01C/01X)

VA音色のエディットは、ボイスエディット画面VAページで行ないます。ELS-01ではVA ページは表示されません。

VAページ



● エレメントオン/オフ

AWM音源の4つのエレメントとVA音源を表しています。押すたびに、オンとオフ(消音)が 切り替わります(オフにしたエレメントはグレー表示になります)。VA音色のエディットの 場合、AWM1~AWM4にはエレメントが入っていません。VA音色にAWMエレメントを 加えたボイスを作りたい場合は、LAYERページの1画面目でエレメントを選択します。57 ページをご覧ください。

0 レベル

出力レベルを設定します。 設定範囲:0~127

③ アタックレート

鍵盤を押さえたとき、Oから最大の出力レベルに達するまでの速さを設定します。 値を+(プラス)にすると音の立ち上がりが速くなり、-(マイナス)にすると音の立ち上がり が遅くなります。 設定範囲:-64~+63

⑦ ディケイレート

最大の出力レベルから(鍵盤を押さえている間、鳴り続ける)一定のレベルに達するまでの速 さを設定します。 設定範囲:-64~+63

6 リリースレート

鍵盤から指をはなしたあと、出力レベルがOになるまでの速さを設定します。値を+(プラス)にすると音が消えるまでの時間が短くなり、-(マイナス)にすると音が消えるまでの時間が長くなります。 設定範囲:-64~+63

6 EQD-

EQ (イコライザー)(57ページ)

関連ページ

音を構成する成分(周波数)のうち、低音部を強調したり(+)、抑えたり(-)します。 設定範囲:-64~+63

O EQハイ

音を構成する成分(周波数)のうち、高音部を強調したり(+)、抑えたり(-)します。 設定範囲:-64~+63

エンベロープパラメーター

個々の楽器によって、鍵盤を押さえたときの音の立ち上がりかた、鍵盤を押さえている 間の音量/音質の変化のしかた、鍵盤から指をはなしたあとの音の減衰のしかたなどは 異なっています。その波形の特性をエンベロープといいます。上の2~⑤は、このエン ベロープを変化させるためのパラメーターです。



8 MIDIコントロールへの設定項目追加

MIDIコントロール

エレクトーンをほかのMIDI機器やコンピューターと接続したときに、外部機器からどのようにエレクトーンをコントロールするか、またはエレクトーンからどのように外部機器を コントロールするかを設定します。送信チャンネルを選択したり、外部機器との同期設定 をしたりします。

[UTILITY]ボタンを押します。

ユーティリティー画面が表示されます。



🧪 画面右上の[MIDI]ボタンを押して、MIDIページを表示させます。

0 アウトプット

MIDIの送信チャンネルを変えることができます。上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤、エクスプレッションペダル、セカンドエクスプレッションペダルのそれぞれについて、チャンネル1~16のいずれかを設定できます。ここで設定した送信チャンネルで各鍵盤やエクスプレッションペダルの演奏情報を送信することができます。MIDIメッセージを送信したい機器(コンピューターやMIDI音源など)の受信チャンネルに合わせて、送信チャンネルを設定してください。(ELS-01では、セカンドエクスプレッションペダルは表示されません。) 送信チャンネルボタンを押すと、チャンネル(CH)1~16のリストが表示されます。その中から設定したいチャンネルナンバーを選ぶと、自動的にリストが閉じ、選んだ送信チャンネルが設定されます。

エクスプレッションペダル、セカンドエクスプレッションペダルについては、出力しない 設定(OFF)を選ぶこともできます。セカンドエクスプレッションペダルについては、セカン ドエクスプレッションとして出力するCC#4も選べます。



MIDIアウトフィルターでセカン ドエクスプレッションをONにす ンドエクスプレッションの設定 は無効になります。

MIDIアウトフィルター

エレクトーンの演奏によって出力されるMIDIデータのうち、特定のMIDIデータをカット し、出力されないようにします。カットできるMIDIデータは、ホリゾンタルタッチ、アフ ると、アウトプット(①)でのセカ タータッチ、セカンドエクスプレッション、リズムスタート/ストップ情報の4種類です (ELS-01では、ホリゾンタルタッチとセカンドエクスプレッションは表示されません)。 それぞれのON/OFFボタンを使って、個別に設定します。ONに設定したMIDIデータは カットされ、外部機器には出力されません。

インターナル/エクスターナル

表示された各項目のコントロールをエレクトーンで行なう(インターナル)か、外部機器で行 なう(エクスターナル)かを切り替えます。

€-1 U−F1

リードボイス1の発音方法を設定します。

インターナル: リードボイス1は、上鍵盤(トゥーロワー機能をオンにした場合は下 鍵盤)で発音します。

エクスターナル: リードボイス1は、MIDIチャンネル4で外部から送信された演奏情 報を受けて、発音します。

6-2 同期

リズムを同期させるためのタイミング決定を、エレクトーンが持つ内部クロックで 行なうか、エレクトーンと接続した他のMIDI 機器のクロック(外部クロック)で行な うかを設定します。通常はインターナルにします。

インターナル:内部クロックで動作します。

エクスターナル: MIDI IN端子から入ってくる外部クロックで動作します。エレク トーンは外部機器のクロックに従います。

6 - 3 エクスプレッション

エクスプレッションペダルの機能をコントロールします。通常はオートにします。 オート:インターナル/エクスターナルが自動的に切り替わります。

インターナル:エクスプレッションペダルを使ってエレクトーンの音量を調整でき ます。

エクスターナル:外部からMIDI信号を受信しているときやMDRでソングを再生して いる間は、受信したMIDI信号やMDRに記録されたデータによってエレクトーンの 音量がコントロールされ、エクスプレッションペダルでの音量調節はできません。

リズムのコピー元/コピー先選択画面

🛛 アセンブリー

ほかのリズムから現在プログラム中のリズムに、パートをコピーします。複数のリズムか らセクションを組み合わせてユーザーリズムを作成する場合に便利です。 [アセンブリー]ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。



コピーを実行するときに押します

どのリズム/セクションのどのパートをコピーするかを選択します。打楽器パートやアカンパ ニメントのうちの1パートだけをコピーしたり、すべてのパートをコピーしたりできます。 コピー元のリズム、セクション、パートを選択したあと、コピー先のセクションとパートを 選択してください。

コピー元とコピー先の設定ができたら、[実行]ボタンを押します。コピーが実行され、元の 画面に戻ります。



アカンパニメントを選ぶ/つくる(ロワーリズミック機能)

自分でつくったリズムに、既存のリズムのアカンパニメントをあわせて一緒に使用したり、 ロワーリズミック機能を使って、下鍵盤にオリジナルのバッキングパターンをつけたりで きます。

既存のリズムのアカンパニメントを選ぶには:

画面上の[設定]ボタンを押して設定ページを表示させます。

2 [アセンブリー]ボタンを押します。 コピー先、コピー元を選ぶ画面が現れます。

コピー元の[リズム]ボタンや[セクション]ボタンで、使用したいアカンパニメントのあるリズム、セクションを選択します。



4 コピー元の[パート]ボタンで、使用したいアカンパニメントのパートを選択します。

ここで選択したリズムのアカンパニメントが、そのまま自分のリズムに登録されます。

5 コピー先の[パート]ボタンで、ロワーリズミックをコピーしたいパート(コード 1またはコード2)を選びます。

(実行)ボタンを押します。

→ コピーが実行され、もとの画面(設定ページ)に戻ります。

これで、使用したいパターンが呼び出せました。

レジストレーションメモリーに記録できない内容

バージョン1.7では、レジストレーションメモリーに記録できない内容は以下のとおりです。

以下の設定は、楽器全体に関する設定なので、レジストレーションメモリーに記録して
おくことはできません。また、スマートメディアなどに保存することもできません。
・ピッチ
・MIDIコントロール
・マイクボリューム
・マイクリバーブ
・画面に関する設定
・インターネット環境設定
・ページめくり以外の譜面に関する設定
い下の設定は レジストレーションナンバーでとに違う設定にすることはできません
ソングのレジストレーションデータとして、スマートメディアなどに保存できます。
 トランスポーズ
・オルガンフルート音色のアタックのモード
・レジストレーションシフト
・オートフィル
・リバーブタイプ
・ユーザーボイス
・ユーザーリズム
・ユーザーキーボードパーカッション
・リズムシーケンス
・ディスエーブル
・ディスエーブルモード
・譜面設定のネクスト ページ



メディアをフォーマットする (12ページ)

USB記憶装置やUSB-LANアダプターを接続する $\bullet \bullet \bullet \bullet \bullet \bullet$

USB記憶装置(フロッピーディスクドライブUD-FD01など)を接続してフロッピーディス クにエレクトーンのデータを保存したり、USB-LANアダプターを接続して楽器をインター ネットに接続したりできます。USB記憶装置やUSB-LANアダプターは、USB TO DEVICE端子に接続します。

● ご利用いただけるUSB装置



必要に応じて、USBハブ(セルフ USBハブは、ELS-01では3個 まで、ELS-01C/01Xでは2個 まで接続できます。

USB TO DEVICE端子に接続できるUSB装置は、USB-LANアダプターと、USB記憶装 置(フロッピーディスクドライブ、ハードディスクドライブ、フラッシュディスク、MOド ライブなどの4台まで)です。動作確認済みUSB機器については、ご購入の前にインター パワーのもの)をお使いください。ネット上のヤマハエレクトーンホームページでご確認ください。

USB TO DEVICE端子をご使用になる場合の注意

以下の点にご注意ください。

V



- ・USB機器の頻繁な電源のオン/オフ(接続したUSB機器がセルフパワー機器の場合) やUSBケーブルの抜き差しをしないでください。楽器本体の機能が停止するおそれ があります。
- ・接続したUSB機器がハードディスクドライブなど記憶装置の場合、保存/読み込み /削除などデータのアクセス中に、USBケーブルを抜いたり、USB記憶装置から メディア(ディスクなど)を取り出したり、双方の電源を切ったりしないでください。 メディアがこわれたり、楽器本体/メディアのデータがこわれたりするおそれが あります。

MIDIデータフォーマット

1. チャンネルメッセージ

1.1 ELモード

コード	ファンクション	受信	送信	備考
8n, nn, 00-7F	ノートオフ	1ch	×	上鍵盤
		2ch	×	下鍵盤
		3ch	×	ペダル鍵盤
		(4CN) *	×	
		15ch	×	キーボードパーカッション
9n, nn, 00	ノートオフ	1 ch	(1ch)*	上鍵盤
9n, nn, 01-7F	ノートオン	2ch	(2ch) *	下鍵盤
		3ch	(3ch) *	ペダル鍵盤
		(4CN) * 5-1 / ch	×	
		15ch	×	キーボードパーカッション
An, nn, 00-7F	ポリフォニックアフタータッチ	5-14ch	×	XG
Bn, 00, 00-7F	バンクセレクト	5-14ch	×	XG
Bn, 20, 00-7F				
Bn, 01, 00-7F	モジュレーション	5-14ch	×	XG
Bn, 04, 00-7F	セカンドエクスプレッション	16ch	16ch	コントロール
		(4ch)*	(4ch) * *	リード 洋信についてけら 8 010/012
				区目に 2010 は LL3-010/01X のみ
Bn, 05, 00-7F	ポルタメントタイム	5-14ch	×	XG
Bn, 06, 00-7F	データエントリー	5-14ch	×	XG
Bn, 26, 00-7F				
Bn, 07, 00-7F	ボリューム	5-14ch	×	XG
Bn, OA, 00-7F	パン	5-14ch	×	XG
Bn, 0B, 00-7F	エクスプレッション	16ch	(16ch)*	コントロール
		lob	(1ob)*	
DH, TU, UU-7F		TCH	(101)*	上壁盤 ELS-01C/01Xのみ
Bn, 40, 00-7F	ホールド	5-14ch	×	XG
Bn, 41, 00-7F	ポルタメント	5-14ch	×	XG
Bn, 42, 00-7F	ソステヌート	5-14ch	×	XG
Bn, 43, 00-7F	ソフトペダル	5-14ch	×	XG
Bn, 47, 00-7F	レゾナンス	5-14ch	×	XG
Bn, 48, 00-7F	リリースタイム	5-14ch	×	XG
Bn, 49, 00-7F	アタックタイム	5-14ch	×	XG
Bn, 4A, 00-7F	ブライトネス	5-14ch	×	XG
Bn, 4B, 00-7F	ディケイタイム	5-14ch	×	XG
Bn, 4C, 00-7F	ビブラートレート	5-14ch	×	XG
Bn, 4D, 00-7F	ビブラートデプス	5-14ch	×	XG
Bn, 4E, 00-7F	ビブラートディレイ	5-14ch	×	XG
Bn, 54, 00-7F	ポルタメントコントロール	5-14ch	×	XG
Bn, 5B, 00-7F	リバーブセンドレベル	5-14ch	×	XG
Bn, 5D, 00-7F	コーラスセンドレベル	5-14ch	×	XG
Bn, 5E, 00-7F	バリエーションエフェクトセンドレベル	5-14ch	×	XG
Bn, 60, 00-7F Bn, 61, 00-7F	データインクリメント データデクリメント	5-14ch	×	XG
Bn 62 00-7F	NBPNISB	5-14ch	×	XG
Bn, 63, 00-7F	NRPN MSB			
Bn, 64, 00-7F	RPN LSB	5-14ch	×	XG
Bn, 65, 00-7F	RPN MSB			

コード	ファンクション	受信	送信	備考
Bn, 78, 00 Bn, 79, 00 Bn, 7B, 00 Bn, 7C, 00 Bn, 7D, 00 Bn, 7E, 00 Bn, 7F, 00	オールサウンドオフ リセットオールコントローラ オールノートオフ オムニオフ オムニオン モノ ポリ	5-14ch	×	XG
Cn, nn	プログラムチェンジ	5-14ch 16ch	× 16ch	XG コントロール
Dn. 00-7F	アフタータッチ	1 ch 2ch 3ch (4ch) * 5-1 4ch	(1ch)* (2ch)* (3ch)*	上鍵盤 下鍵盤 ペダル鍵盤 リード1 XG
En, 00-7F, 00-7F	ピッチベンド	1 ch 2 ch (4 ch) * × 5-14 ch	(1ch)* (2ch)* × (1-16ch)* ×	上鍵盤 下鍵盤 リード1 セカンドエクスプレッション (ELS-01C/01X) XG

*MIDIコントロール(63ページ)で変更。

**4chに設定したときのみ出力される。

1.2 XGモード

コード	ファンクション	受信	送信	備考
8n, nn, 00-7F	ノートオフ	1-16ch	×	
9n, nn, 00 9n, nn, 01-7F	ノートオン ノートオフ	1-16ch	(1ch)* (2ch)* (3ch)*	上鍵盤 下鍵盤 ペダル鍵盤
An, nn, 00-7F	ポリフォニックアフタータッチ	1-16ch	×	
Bn, 00, 00-7F Bn, 20, 00-7F	バンクセレクト	1-16ch	×	
Bn, 01, 00-7F	モジュレーション	1-16ch	×	
Bn, 04, 00-7F	セカンドエクスプレッション	×	16ch (4ch) * *	コントロール リード 1 ELS-01C/01Xのみ
Bn, 05, 00-7F	ポルタメントタイム	1-16ch	×	
Bn, 06, 00-7F Bn, 26, 00-7F	データエントリー	1-16ch	×	
Bn, 07, 00-7F	ボリューム	1-16ch	×	
Bn, OA, 00-7F	パン	1-16ch	×	
Bn, OB, 00-7F	エクスプレッション	1-16ch	(16ch)*	コントロール
Bn,10,00-7F	VA用アフタータッチ	×	(1ch)*	上鍵盤 ELS-01C/01Xのみ
Bn, 40, 00-7F	ホールド	1-16ch	×	
Bn, 41, 00-7F	ポルタメント	1-16ch	×	
Bn, 42, 00-7F	ソステヌート	1-16ch	×	
Bn, 43, 00-7F	ソフトペダル	1-16ch	×	
Bn, 47, 00-7F	レゾナンス	1-16ch	×	
Bn, 48, 00-7F	リリースタイム	1-16ch	×	
Bn, 49, 00-7F	アタックタイム	1-16ch	×	
Bn, 4A, 00-7F	ブライトネス	1-16ch	×	
Bn, 4B, 00-7F	ディケイタイム	1-16ch	×	
Bn, 4C, 00-7F	ビブラートレート	1-16ch	×	
Bn, 4D, 00-7F	ビブラートデプス	1-16ch	×	
Bn, 4E, 00-7F	ビブラートディレイ	1-16ch	×	

コード	ファンクション	受信	送信	備考
Bn, 54, 00-7F	ポルタメントコントロール	1-16ch	×	
Bn, 5B, 00-7F	リバーブセンドレベル	1-16ch	×	
Bn, 5D, 00-7F	コーラスセンドレベル	1-16ch	×	
Bn, 5E, 00-7F	バリエーションエフェクトセンドレベル	1-16ch	×	
Bn, 60, 00-7F Bn, 61, 00-7F	データインクリメント データデクリメント	1-16ch	×	
Bn, 62, 00-7F Bn, 63, 00-7F	NRPN LSB NRPN MSB	1-16ch	×	
Bn, 64, 00-7F Bn, 65, 00-7F	RPN LSB RPN MSB	1-16ch	×	
Bn, 78, 00 Bn, 79, 00 Bn, 7B, 00 Bn, 7C, 00 Bn, 7D, 00 Bn, 7E, 00 Bn, 7F, 00	オールサウンドオフ リセットオールコントローラ オールノートオフ オムニオフ オムニオン モノ ポリ	1-16ch	×	
Cn, 00-7F	プログラムチェンジ	1-16ch	16ch	コントロール
Dn, 00-7F	アフタータッチ	1-16ch	(1ch)* (2ch)* (3ch)*	上鍵盤 下鍵盤 ペダル鍵盤
En, 00-7F, 00-7F	ピッチベンド	1-16ch	(1ch)* (2ch)* (1-16ch)* ×	上鍵盤 下鍵盤 セカンドエクスプレッション (ELS-01C/01Xのみ)

*MIDIコントロール(63ページ)で変更。

**4chに設定したときのみ出力される。

2. リアルタイムメッセージ

コード	ファンクション	受信	送信	備考
F8	クロック	○*	0	
FA	スタート	0	0	
FC	ストップ	0	0	
FE	アクティブセンス	0	0	
FF	リセット	×	×	

*外部同期モードのみ。

3. エクスクルーシブメッセージ

3.1 フォーマット

ユニバーサルリアルタイムメッセージ

コード	メッセージ	受信	送信
F0, 7F, 7F, 04, 01, SS, TT, F7 XN	GM2マスターボリューム	0	×
F0, 7F, 7F, 04, 03, SS, TT, F7 XN	GM2マスターファインチューニング	0	×
F0, 7F, 7F, 04, 04, 00, TT, F7 XN	GM2マスターコースチューニング	0	×
F0, 7F, 7F, 04, 05, 01, 01, 01, 01, 01, PP, VV,, F7 XN	GM2リバーブパラメーター	0	×
F0, 7F, 7F, 04, 05, 01, 01, 01, 01, 02, PP, VV,, F7 XN	GM2コーラスパラメーター	0	×

コード	メッセージ	受信	送信
F0, 7F, 7F, 09, 01, 0n, PP, VV,, F7 XN	GM2アフタータッチパラメーター	0	×
F0, 7F, 7F, 09, 03, 0n, CC, PP, VV,, F7 XN	GM2コントロールチェンジパラメーター	0	×
F0, 7F, 7F, 0A, 01, 0n, KK, CC, PP, VV,, F7 XN	GM2キーベースドコントローラー	0	×

ユニバーサルノンリアルタイムメッセージ

コード	メッセージ	受信	送信
F0, 7E, 7F, 09, 01, F7 XN	GM ON	0	×
F0, 7E, 7F, 09, 03, F7 XN	GM2 ON	0	×
F0, 7E, 7F, 09, 02, F7 XN	GM OFF	0	×
F0, 7E, 7F, 08, 08, JJ, GG, MM,data, F7 XN	GM2スケール/オクターブチューニング	0	×

XGネイティブ

コード	メッセージ	受信	送信
FO, 43, 1N, 4C, AH, AM, AL,data, F7	XGパラメーターチェンジ	0	×
FO, 43, ON, 4C, BH, BL, AH, AM, AL,data, cc, F7	XGバルクダンプ	0	×
F0, 43, 1N, 27, 30, 00, 00, MM, LL, cc, F7	XGマスターチューニング	0	×

クラビノーバエクスクルーシブ

コード	メッセージ	受信	送信
F0, 43, 73, 01, 02, F7	内部同期モード要求	0	×
03	外部同期モード要求	0	×

メッセージエクスクルーシブ

コード	メッセージ	受信	送信
F0, 43, 60, 7A, F7	リズムスタート	0	×
F0, 43, 60, 7D, F7	リズムストップ	0	×

エレクトーンエクスクルーシブ

コード	メッセージ	受信	送信
F0, 43, 70, ID, 00, F7	モデルIDデータ	×	0
F0, 43, 70, 70, 30, F7	モデルID送信要求	0	×
F0, 43, 70, 70, 40, nn(*1), 7F, F7	スイッチON	0	0
00	スイッチOFF	0	0
F0, 43, 70, 70, 40, 50, TL, TH, F7	テンポ	0	0
F0, 43, 70, 78, 41, cc, dd, F7(*2)	パネルスイッチイベント	0	0
F0, 43, 70, 78, 42, 3C, …データ…, F7	カレントレジストデータ	0	0
F0, 43, 70, 78, 44, …データ…(*3), F7	MIDIパラメーター	0	0
F0, 43, 70, 70, 70, nn(*4), F7	MDR	0	×
F0, 43, 70, 70, 73, F7	ELON	0	×
F0, 43, 70, 70, 78, 00, 00, F7	バーシグナル	×	0

X: don't care N: Device Number (ELS-01/01C/01Xでは"0"のみ) ID: モデルID (ELS-01C=4DH, ELS-01=4EH, ELS-01X=51H)
*1. スイッチ

nn	スイッチ	受信	送信
45H	レフトフットスイッチ	0	0
47H	ニーレバー	0	0

*2. パネルスイッチイベント

セレクター

MIDIエクスクルーシブフォーマット F0, 43, 70, 78, 41, cc, dd, F7

СС	スイッチ		d	d	備考	
コード		受信	受信値	送信	送信値	
OF	レジストレーションメモリー [1-16]	0	[00-0F]	×	-	

ボリューム

сс	スイッチ		d	d	備考	
コード		受信	受信値	送信	送信値	
12	上鍵盤ボイス1ボリューム	0	[00-7F]	0	[00-7F]	ボリュームデータ 00:MAX, 7F:MIN
13	下鍵盤ボイス1ボリューム	0	[00-7F]	0	[00-7F]	ボリュームデータ 00:MAX, 7F:MIN
14	上鍵盤ボイス2ボリューム	0	[00-7F]	0	[00-7F]	ボリュームデータ 00:MAX, 7F:MIN
15	下鍵盤ボイス2ボリューム	0	[00-7F]	0	[00-7F]	ボリュームデータ 00:MAX, 7F:MIN
16	リードボイス1ボリューム	0	[00-7F]	0	[00-7F]	ボリュームデータ 00:MAX, 7F:MIN
17	ペダルボイス1ボリューム	0	[00-7F]	0	[00-7F]	ボリュームデータ 00:MAX, 7F:MIN
18	ペダルボイス2ボリューム	0	[00-7F]	0	[00-7F]	ボリュームデータ 00:MAX, 7F:MIN
19	リードボイス2ボリューム	0	[00-7F]	0	[00-7F]	ボリュームデータ 00:MAX, 7F:MIN
1A	パーカッションボリューム	0	[00-7F]	0	[00-7F]	ボリュームデータ 00:MAX, 7F:MIN
1B	リバーブデプス	0	[00-7F]	0	[00-7F]	デプスデータ 00:MAX, 7F:MIN

オルガンフルート音色

сс	スイッチ		d	d	備考	
コード		受信	受信値	送信	送信値	
30	上鍵盤オルガンフルート [U. ORGAN FLUTES]	0	[00-01]	0	[00-01]	00:0FF, 01:0N
31	下鍵盤オルガンフルート [L. ORGAN FLUTES]	0	[00-01]	0	[00-01]	00:0FF, 01:0N

トゥーロワー

СС	スイッチ		d	d	備考	
コード		受信	受信値	送信	送信値	
36	リードボイス1トゥーロワー [TO LOWER ▼]	0	[00-01]	0	[00-01]	00:0FF, 01:0N
37	ペダルボイス1トゥーロワー [TO LOWER ▲]	0	[00-01]	0	[00-01]	00:0FF, 01:0N
38	ペダルボイス2トゥーロワー [TO LOWER ▲]	0	[00-01]	0	[00-01]	00:0FF, 01:0N

ソロモード

СС	スイッチ		d	d	備考	
コード		受信	受信値	送信	送信値	
39	リードボイス2ソロ(ニー) [SOLO (KNEE)]	0	[00-01]	0	[00-01]	00:0FF, 01:0N

ブリリアンス

СС	スイッチ		d	d	備考	
コード		受信	受信値	送信	送信値	
42	上鍵盤ボイス1ブリリアンス	0	[00-06]	0	[00-06]	00:BRILLIANT, 06:MELLOW
43	下鍵盤ボイス1ブリリアンス	0	[00-06]	0	[00-06]	00:BRILLIANT, 06:MELLOW
44	上鍵盤ボイス2ブリリアンス	0	[00-06]	0	[00-06]	00:BRILLIANT, 06:MELLOW
45	下鍵盤ボイス2ブリリアンス	0	[00-06]	0	[00-06]	00:BRILLIANT, 06:MELLOW
46	リードボイス1ブリリアンス	0	[00-06]	0	[00-06]	00:BRILLIANT, 06:MELLOW
47	ペダルボイス1ブリリアンス	0	[00-06]	0	[00-06]	00:BRILLIANT, 06:MELLOW
48	ペダルボイス2ブリリアンス	0	[00-06]	0	[00-06]	00:BRILLIANT, 06:MELLOW
49	リードボイス2ブリリアンス	0	[00-06]	0	[00-06]	00:BRILLIANT, 06:MELLOW

サステイン

СС	スイッチ		d	d	備考	
コード		受信	受信値	送信	送信値	
50	アッパーサステイン [UPPER (KNEE)]	0	[00-01]	0	[00-01]	00:0FF, 01:0N
51	ロワーサステイン [LOWER (KNEE)]	0	[00-01]	0	[00-01]	00:0FF, 01:0N
52	ペダルサステイン [PEDAL]	0	[00-01]	0	[00-01]	00:0FF, 01:0N

ソロバー

сс	スイッチ		d	d	備考	
コード		受信	受信値	送信	送信値	
59	ソロバー	0	[00-01]	×	-	00:0FF, 01:0N

キーボードパーカッション

сс	スイッチ		d	d	備考	
コード		受信	受信値	送信	送信値	
5B	キーボードパーカッション [1]	0	[00-01]	0	[00-01]	00:0FF, 01:0N
5C	キーボードパーカッション [2]	0	[00-01]	0	[00-01]	00:0FF, 01:0N

ディスエーブル

СС	スイッチ		d	d	備考	
コード		受信	受信値	送信	送信値	
5F	ディスエーブル [D.]	0	[00-01]	0	[00-01]	00:0FF, 01:0N

ロータリースピーカー

сс	スイッチ	dd				備考
コード		受信	受信値	送信	送信値	
60	ロータリースピーカースピード [ROTARY SP SPEED]	0	[00-01]	0	[00-01]	00:0FF, 01:0N

リズムシーケンス

сс	スイッチ		d	d		備考
コード		受信	受信値	送信	送信値	
61	シーケンス1 [SEQ.1]	0	[00-01]	0	[00-01]	00:0FF, 01:0N
62	シーケンス2 [SEQ.2]	0	[00-01]	0	[00-01]	00:0FF, 01:0N
63	シーケンス3 [SEQ.3]	0	[00-01]	0	[00-01]	00:0FF, 01:0N
64	シーケンス4 [SEQ.4]	0	[00-01]	0	[00-01]	00:0FF, 01:0N

*3. MIDIパラメーター

音群パラメーター

オーケストラ音群パラメーター (Address mm: 0~7 = 上鍵盤1、上鍵盤2、下鍵盤1、下鍵盤2、リード1、リード2、ペダル1、ペダル2) MIDIエクスクルーシブフォーマット F0, 43, 70, 78, 44, hh, mm, II, …, F7

	Address	6	Size	Data	パラメーター	データ	受信	受信値	送信	送信値
hh	mm	Ш								
10	00-07	00-0D	5	00-7F 00-7F 00 00 00	音色アサインナンバー	00-7F 00-7F 00 00 00	0	00-7F 00-7F 00 00 00	0	00-7F 00-7F 00 00 00
10	00-07	10	1	00-0D	音色セレクタナンバー	00-0D	0	00-0D	0	00-0D
10	00-07	11	1	00-7F	ボリューム	00:MIN 7F:MAX	0	00-7F	×	-
10	00-07	12	1	00-7F	リバーブ (センドレベル)	00:MIN 7F:MAX	0	00-7F	0	00-7F
10	00-07	13	1	00-7F	ブリリアンス	00:BRILLIANT 40:CENTER 7F:MELLOW	0	00-7F	×	-
10	00-07	14	1	00-04	フィート	00:プリセット 01:16' 02:8' 03:4' 04:2'	0	00-7F	0	00-04
10	00-07	15	1	00-7F	パン	00:レフト 40:センター 7F:ライト	0	00-7F	0	08-78
10	00-07	16	1	00-7F	タッチトーン イニシャルタッチ	00:浅い 7F:深い	0	00-7F	0	00-7F
10	00-07	17	1	00-7F	タッチトーン アフタータッチ	00:浅い 7F:深い	0	00-7F	0	00-7F
10	00-07	18	1	00-7F	ピッチ アフタータッチ	00:狭い 7F:広い	0	00-7F	0	32-4E
10	00-07	19	1	00-7F	ユーザービブラート	00:プリセット 01:ユーザー	0	00-7F	0	00-01
10	00-07	1A	1	00-7F	ビブラート ディレイ	00:短い 7F:長い	0	00-7F	0	02-1A
10	00-07	1B	1	00-7F	ビブラート デプス	00:浅い 7F:深い	0	00-7F	0	00-54
10	00-07	1C	1	00-7F	ビブラート スピード	00:遅い 7F:速い	0	00-7F	0	3C-6C
10	00-05	1D	1	00-7F	ピッチ ホリゾンタルタッチ	00:狭い 7F:広い	0	00-7F	0	00-7F
10	00-07	1E	1	00-7F	タッチビブラート(オン/オフ)	00:0FF 7F:0N	0	00-7F	0	00-7F
10	04-07	1F	1	00-7F	TO LOWER▲/▼/SOLO (KNEE)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	×	-
10	04-05	20	1	00-02	スライド (オン/ニーレバー/オフ)	00:OFF 01:ON 02:ニーレバー	0	00-02	0	00-02
10	04-05	21	1	00-7F	スライド タイム	00:速い 7F:遅い	0	00-7F	0	02-7F
10	00-07	22	1	00-7F	チューン/デチューン	00:低い 40:センター 7F:高い	0	00-7F	0	00-7F
10	00-01/ 04-07	23	1	00-7F	セカンドエクスプレッション ピッチベンド	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01
10	00-05	24	1	00-7F	フットスイッチ グライドコントロール	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01
10	00-07	25	1	3A-46	音群トランスポーズ	3A:低い 40:ノーマル 46:高い	0	3A-46	0	3A-46
10	06-07	28	1	00-7F	ポリ(オン/オフ)	00:モノ 01:ポリ	0	00-7F	0	00-01
10	05	29	1	00-7F	プライオリティー(ラスト/トップ)	00:トップ 01:ラスト	0	00-7F	0	00-01
10	00-07	2A	1	00-7F	ボリュームミュート	00:ミュートOFF 01:ミュートON	0	00-7F	0	00-01
10	00-07	40	3	00 00-7F 00-7F	エフェクト1タイプ MSB/LSB	00 00-7F 00-7F	0	00 00-7F 00-7F	0	00 00-7F 00-7F

	Address	5	Size	Data	パラメーター	データ	受信	受信値	送信	送信値
hh	mm	Ш								
10	00-07	41	2	0000- 7F7F	エフェクト1パラメーター 1 MSB/LSB	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	42	2	0000- 7F7F	エフェクト1パラメーター 2 MSB/LSB	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	43	2	0000- 7F7F	エフェクト1パラメーター 3 MSB/LSB	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	44	2	0000- 7F7F	エフェクト1パラメーター 4 MSB/LSB	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	45	2	0000- 7F7F	エフェクト1パラメーター 5 MSB/LSB	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	46	2	0000- 7F7F	エフェクト1パラメーター 6 MSB/LSB	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	47	2	0000- 7F7F	エフェクト1パラメーター 7 MSB/LSB	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	48	2	0000- 7F7F	エフェクト1パラメーター 8 MSB/LSB	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	49	2	0000- 7F7F	エフェクト1パラメーター 9 MSB/LSB	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	4A	2	0000- 7F7F	エフェクト1パラメーター 10 MSB/LSB	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	4B	2	0000- 7F7F	エフェクト1パラメーター 11	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	4C	2	0000- 7F7F	エフェクト1パラメーター 12	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	4D	2	0000- 7F7F	エフェクト1パラメーター 13	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	4E	2	0000- 7F7F	エフェクト1パラメーター 14	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	4F	2	0000- 7F7F	エフェクト1パラメーター 15	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	50	2	0000- 7F7F	エフェクト1パラメーター 16	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	51	3	00 00-7F 00-7F	エフェクト2タイプ MSB/LSB	00 00-7F 00-7F	0	00 00-7F 00-7F	0	00 00-7F 00-7F
10	00-07	52	2	0000- 7F7F	エフェクト2パラメーター 1 MSB/LSB	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	53	2	0000- 7F7F	エフェクト2パラメーター 2 MSB/LSB	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	54	2	0000- 7F7F	エフェクト2パラメーター 3 MSB/LSB	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	55	2	0000- 7F7F	エフェクト2パラメーター 4 MSB/LSB	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	56	2	0000- 7F7F	エフェクト2パラメーター 5 MSB/LSB	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	57	2	0000- 7F7F	エフェクト2パラメーター 6 MSB/LSB	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	58	2	0000- 7F7F	エフェクト2パラメーター 7 MSB/LSB	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	59	2	0000- 7F7F	エフェクト2パラメーター 8 MSB/LSB	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	5A	2	0000- 7F7F	エフェクト2パラメーター 9 MSB/LSB	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	5B	2	0000- 7F7F	エフェクト2パラメーター 10 MSB/LSB	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	5C	2	0000- 7F7F	エフェクト2パラメーター 11	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	5D	2	0000- 7F7F	エフェクト2パラメーター 12	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	5E	2	0000- 7F7F	エフェクト2パラメーター 13	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	5F	2	0000- 7F7F	エフェクト2パラメーター 14	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	60	2	0000- 7F7F	エフェクト2パラメーター 15	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	61	2	0000- 7F7F	エフェクト2パラメーター 16	0000-7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
10	00-07	63	1	00-7F	サステイン レングス	7F:Hold 7E:Long 00:Short	0	00-7F	0	00-7F

オルガンフルート音色パラメーター (Address mm: 0~1 = 上鍵盤、下鍵盤)

	Address	6	Size	Data	バラメーター	データ	受信	受信値	送信	送信値
hh	mm	Ш								
11	00-01	00	1	00-7F	フッテージ 16フィート	00:MIN 7F:MAX	0	00-7F	0	00-7F
11	00-01	01	1	00-7F	フッテージ 8フィート	00:MIN 7F:MAX	0	00-7F	0	00-7F
11	00-01	02	1	00-7F	フッテージ 5-1/3フィート	00:MIN 7F:MAX	0	00-7F	0	00-7F
11	00-01	03	1	00-7F	フッテージ 4フィート	00:MIN 7F:MAX	0	00-7F	0	00-7F
11	00-01	04	1	00-7F	フッテージ 2-2/3フィート	00:MIN 7F:MAX	0	00-7F	0	00-7F
11	00-01	05	1	00-7F	フッテージ 2フィート	00:MIN 7F:MAX	0	00-7F	0	00-7F
11	00-01	06	1	00-7F	フッテージ 1-3/5フィート	00:MIN 7F:MAX	0	00-7F	0	00-7F
11	00-01	07	1	00-7F	フッテージ 1-1/3フィート	00:MIN 7F:MAX	0	00-7F	0	00-7F
11	00-01	08	1	00-7F	フッテージ 1フィート	00:MIN 7F:MAX	0	00-7F	0	00-7F
11	00-01	09	1	00-7F	レスポンス	00:速い 7F:遅い	0	00-7F	0	00-7F
11	00-01	OA	1	00-7F	アタック 4フィート	00:MIN 7F:MAX	0	00-7F	0	00-7F
11	00-01	OB	1	00-7F	アタック 2-2/3フィート	00:MIN 7F:MAX	0	00-7F	0	00-7F
11	00-01	OC	1	00-7F	アタック 2フィート	00:MIN 7F:MAX	0	00-7F	0	00-7F
11	00-01	OD	1	00-7F	アタック レングス	00:短い 7F:長い	0	00-7F	0	00-7F
11	00-01	10	1	00-7F	オルガンフルート(オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	×	-
11	00-01	11	1	00-7F	ボリューム	00:MIN 7F:MAX	0	00-7F	0	00-7F
11	00-01	12	1	00-7F	リバーブ (センドレベル)	00:MIN 7F:MAX	0	00-7F	0	00-7F
11	00-01	13	1	00-7F	タイプ (サイン/ビンテージ)	00:サイン 01:ビンテージ	0	00-7F	0	00-01
11	00-01	40	3	00 00-7F 00-7F	エフェクトタイプ MSB/LSB	00 00-7F 00-7F	0	00 00-7F 00-7F	0	00 00-7F 00-7F
11	00-01	41	2	0000- 7F7F	エフェクトパラメーター 1 MSB/LSB	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
11	00-01	42	2	0000- 7F7F	エフェクトパラメーター2 MSB/LSB	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
11	00-01	43	2	0000- 7F7F	エフェクトパラメーター3 MSB/LSB	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
11	00-01	44	2	0000- 7F7F	エフェクトパラメーター4 MSB/LSB	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
11	00-01	45	2	0000- 7F7F	エフェクトパラメーター5 MSB/LSB	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
11	00-01	46	2	0000- 7F7F	エフェクトパラメーター6 MSB/LSB	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
11	00-01	47	2	0000- 7F7F	エフェクトパラメーター7 MSB/LSB	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
11	00-01	48	2	0000- 7F7F	エフェクトパラメーター8 MSB/LSB	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
11	00-01	49	2	0000- 7F7F	エフェクトパラメーター9 MSB/LSB	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
11	00-01	4A	2	0000- 7F7F	エフェクトパラメーター 10 MSB/LSB	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
11	00-01	4B	2	0000- 7F7F	エフェクトパラメーター11	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
11	00-01	4C	2	0000- 7F7F	エフェクトパラメーター 12	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
11	00-01	4D	2	0000- 7F7F	エフェクトパラメーター13	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
11	00-01	4E	2	0000- 7F7F	エフェクトパラメーター14	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F

	Address	6	Size	Data	パラメーター	データ	受信	受信値	送信	送信値
hh	mm	Ш								
11	00-01	4F	2	0000- 7F7F	エフェクトパラメーター 15	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
11	00-01	50	2	0000- 7F7F	エフェクトパラメーター16	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F	0	0000- 7F7F
11	00-01	63	1	00- 7F	サステイン レングス	7F:Hold 7E:Long 00:Short	0	00-7F	0	15-3D、 7F

鍵盤パラメーター

サステインパラメーター (Address mm: 0~2 = 上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤)

	Address		Size	Data	パラメーター	データ	受信	受信値	送信	送信値
hh	mm	I								
12	00-02	00	1	00-7F	サステイン(オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	×	-
12	00-02	01	1	00-7F	レングス	00:短い 7F:長い	0	00-7F	×	-

キーボードパーカッションパラメーター (Address mm: 1~2 = K.B.P. [1], K.B.P. [2])

	Address	6	Size	Data	パラメーター	データ	受信	受信値	送信	送信値
hh	mm	Ш								
12	01-02	10	1	00-7F	キーボードパーカッション(オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	×	-
12	01-02	11	1	00-08	キーボードパーカッションメニュー	00:プリセット 01:ユーザー1 02:ユーザー2 03:ユーザー3 04:ユーザー4 05:ユーザー5 06:ユーザー6 07:ユーザー7 08:ユーザー8	0	00-08	0	00-08

リズム

リズムパラメーター

	Address	3	Size	Data	パラメーター	データ	受信	受信値	送信	送信値
hh	mm	Ш								
13	00	00-0B	2	0000- 7F7F	リズムアサインナンバー	0000-7F7F	0	00-7F 00-7F	0	00-7F 00-7F
13	00	10	1	00-0B	リズムセレクタナンバー	00-0B	0	00-0B	0	00-0B
13	00	11	1	00-7F	パーカッション ボリューム	00:MIN 7F:MAX	0	00-7F	×	-
13	00	12	1	00-7F	パーカッション リバーブ (センドレベル)	00:MIN 7F:MAX	0	00-7F	0	00-7F
13	00	13	1	00-7F	セカンドエクスプレッション テンポコントロール(オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01
13	00	14	1	00-7F	フットスイッチ リズムコントロール	00:イントロ1 01:イントロ2 02:イントロ3 08:メインA 09:メインB 0A:メインC 0B:メインC 0B:メインD 18:ブレイク 20:エンディング1 21:エンディング3 7E:ストップ 7F:OFF (イントロ1~ ストップ共通)	0	00-7F	0	00-7F
13	00	15	1	00-7F	アドドラム(オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01
13	00	16	1	00-7F	メインドラム(オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01
13	00	17	1	00-7F	コード1(オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01
13	00	18	1	00-7F	コード2 (オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01

	Address	3	Size	Data	パラメーター	データ	受信	受信値	送信	送信値
hh	mm	I								
13	00	19	1	00-7F	パッド (オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01
13	00	1A	1	00-7F	フレーズ1(オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01
13	00	1B	1	00-7F	フレーズ2(オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01
13	00	10	1	00-7F	オートフィル (オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01

リズムシーケンス

	Address		Size	Data	パラメーター	データ	受信	受信値	送信	送信値
hh	mm	Ш								
13	01	00-03	1	00-7F	シーケンス [SEQ.1]~[SEQ.4]	00:0FF 01:0N	0	00-7F	×	-

アカンパニメントパラメーター

	Address		Size	Data	パラメーター	データ	受信	受信値	送信	送信値
hh	mm	Ш								
13	02	11	1	00-7F	アカンパニメント ボリューム	00:MIN 7F:MAX	0	00-7F	0	00-7F
13	02	12	1	00-7F	アカンパニメント リバーブ (センドレベル)	00:MIN 7F:MAX	0	00-7F	0	00-7F

A.B.C.設定パラメーター

	Address	3	Size	Data	パラメーター	データ	受信	受信値	送信	送信値
hh	mm	Ш								
13	03	00	1	00-7F	オートベースコードモード	00:OFF 01:シングルフィンガー 02:フィンガード 03:カスタムA.B.C.	0	00-7F	0	00-03
13	03	01	1	00-7F	メモリー 下鍵盤(オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01
13	03	02	1	00-7F	メモリー ペダル鍵盤(オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01

M.O.C.設定パラメーター

	Address		Size	Data	パラメーター	データ	受信	受信値	送信	送信値
hh	mm	Ш								
13	04	00	1	00-7F	メロディーオンコードモード	00:0FF 01:1 02:2 03:3	0	00-7F	0	00-03
13	04	01	1	00-7F	メロディーオンコード ニーレバー (オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01

セクションパラメーター

	Address	6	Size	Data	パラメーター	データ	受信	受信値	送信	送信値
hh	mm	Ш								
13	05	00	1	00-7F	イントロ1 (オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01
13	05	01	1	00-7F	イントロ 2(オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01
13	05	02	1	00-7F	イントロ 3(オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01
13	05	08	1	00-7F	メイン A(オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01
13	05	09	1	00-7F	メイン B(オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01
13	05	OA	1	00-7F	メイン C(オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01
13	05	OB	1	00-7F	メイン D(オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01
13	05	18	1	00-7F	ブレイク(オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01

Address		5	Size	Data	パラメーター	データ	受信	受信値	送信	送信値
hh	mm	Ш								
13	05	20	1	00-7F	エンディング 1(オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01
13	05	21	1	00-7F	エンディング 2(オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01
13	05	22	1	00-7F	エンディング 3(オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	0	00-01

キーボードパーカッションパラメーター

Address		3	Size	Data	パラメーター	データ	受信	受信値	送信	送信値
hh	mm	I								
13	10	11	1	00-7F	ボリューム	00:MIN 7F:MAX	0	00-7F	0	00-7F
13	10	12	1	00-7F	リバーブ (センドレベル)	00:MIN 7F:MAX	0	00-7F	0	00-7F

全体

全体パラメーター

	Addres	s	Size	Data	パラメーター	データ	受信	受信値	送信	送信値
hh	mm	II								
14	00	00	1	00-7F	ディスエーブル(オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	×	
14	00	01	1	00-7F	オルガンフルート アタックモード	00:イーチ 01:ファースト	0	00-7F	0	00-01
14	00	02	1	3A-46	ピッチコントロール トランスポーズ	3A:低い 40:ノーマル 46:高い	0	3A-46	0	3A-46
14	00	03	1	01-0C	セカンドエクスプレッション 変化幅	01:100セント 0C:1200セント	0	01-0C	0	01-00
14	00	04	1	00-7F	フットスイッチ モード	00:OFF 01:リズム 02:グライド 03:ロータリース ピーカー	0	00-7F	0	00-03
14	00	05	1	00-7F	ピッチコントロール ピッチ	00:低い 40:ノーマル 7F:高い	0	00-7F	0	00-7F
14	00	06	1	00-7F	フットスイッチ グライドタイム	00:速い 7F:遅い	0	00-7F	0	04-1C
14	00	08	1	00-7F	MIDIコントロール エクスプレッション (インターナル/エクスターナル)	00:インターナル 01:エクスターナル	0	00-7F	×	-
14	00	09	1	00-7F	MIDIコントロール リード1 (インターナル/エクスターナル)	00:インターナル 01:エクスターナル	0	00-7F	×	-
14	00	OA	3	00-04 00-04 (00-03)* 00-0B	レジストレーションメニュー	00-04 00-04 (00-03) 00-0B	0	00-04 00-04 (00-03) 00-0B	0	00-04 00-04 (00-03) 00-0B
14	00	OB	1	00-01	ディスエーブルモード	00:ノーマル 01:テンポ	0	00-01	0	00-01

*ELS-01

全体エフェクトパラメーター:リバーブ										
Address			Size	Data	パラメーター	データ	受信	受信値	送信	送信値
hh	mm	II								
14	01	00	1	00-7F	リバーブ デプス	00:MIN 7F:MAX	0	00-7F	×	-
14	01	01	1	00-7F	リバーブ タイム (パネル用)	00:速い 7F:遅い	0	00-7F	0	00-45
14	01	02	З	00 00-7F 00-7F	リバーブ タイブ (パネル用)	00 00-7F 00-7F	0	00 00-7F 00-7F	0	00 00-7F 00-7F

全体エフェクトパラメーター: リバーブリズム

	Address		Size	Data	パラメーター	データ	受信	受信値	送信	送信値
hh	mm	Ш								
14	02	01	1	00-7F	リバーブ タイム(リズム用)	00:速い 7F:遅い	0	00-7F	0	00-45
14	02	02	3	00 00-7F 00-7F	リバーブ タイブ (リズム用)	00 00-7F 00-7F	0	00 00-7F 00-7F	0	00 00-7F 00-7F

全体エフェクトパラメーター: ロータリースピーカー

	Address		Size	Data	パラメーター	データ	受信	受信値	送信	送信値
hh	mm	Ш								
14	03	00	1	00-7F	ロータリースピーカースピード (オン/オフ)	00:0FF 01:0N	0	00-7F	×	-
14	03	01	1	00-7F	ロータリスピーカースピードコントロール モード	00:ストップ 01:スロー	0	00-7F	0	00-01
14	03	02	2	0000- 007F	ロータリスピーカースピードコントロール スピード	0000:遅い 007F:速い	0	0000- 007F	0	0040- 007F

*4. MDR

nn	コマンド	受信	送信
01H	再生スタート	0	×
02H	再生ストップ	0	×
03H	録音スタート	0	×
04H	録音ストップ	0	×
05H	早送りスタート	0	×
06H	早送りストップ	0	×
09H	リズムポインターリセット	0	×

仕様

			Electone STAGEA ELS-01	Electone STAGEA ELS-01C	Electone STAGEA ELS-01X			
音源			AWM (4)	AWM (4) + 1	VA + ORGAN			
鍵盤			上鍵盤: 49鍵 (C~C)、下鍵盤: 49錄	」 建 (C~C)、ペダル鍵盤: 20鍵 (C~G)	上鍵盤:61鍵(C~C)、下鍵盤:61鍵 (C~C)、ペダル鍵盤:25鍵(C~C)			
	鍵盤種		スタンダード鍵盤 (FS鍵盤)	カスタム鍵想				
	イニシャル	タッチ		上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤				
	アフタータ	ッチ	上鍵盤、下鍵盤	上鍵盤、下鍵盤	盛、ペダル鍵盤			
	ホリゾンタ	ルタッチ	-	上鍵盤、	下鍵盤			
レジスト レーション	レジストレ メニュー	ーション	240	3	00			
	レジストレ メモリー	ーション	M.((メモリー)、1~16、D.(ディスエーフ	ブル)			
	レジストレ シフト	ーション	シ シ	フト、ジャンプ、ユーザー (80ステッ	プ)			
音色	音群		上鍵盤ボイス: 2.	、リードボイス: 2、下鍵盤ボイス: 2、	ペダルボイス: 2			
	ボイス ボタン	上/下 鍵盤 ボイス	STRINGS、BRASS、WOODW GUITA	/IND、TUTTI、PAD、SYNTH、PIA R、CHOIR、WORLD、ユーザーボタ	NO、ORGAN、PERCUSSION、 ン1、2			
		リード ボイス	VIOLIN、SYNTH、FLUTE、 TRUMPET、ユーザーボタン1、 トゥーロワー (リード1)、ソロ(リード2)	VIOLIN、SYNTH、FLUTE、 VA-VIRTUAL、VA-ELEC ユーザーボタン1、トゥーロワ	TRUMPET、VA-ACOUSTIC、 TRONIC、VA-CUSTOM、 7-(リード1)、ソロ(リード2)			
		ペダル ボイス	CONTRABASS、ELEC. BA	SS、TIMPANI、SYNTH BASS、ユ	ーザーボタン1、トゥーロワー			
	全プリセット	ヽボイス数	415	509 (VA:	ボイス含む)			
	ユーザーボ	イス数	AWM:16	AWM:16、VA: 6				
	オルガンフ	ルート	_	[タイブ] サイン [フッテージ] 16'、5 1/3'、8'、4'、 [アタック] 4'、2 2 [レスオ [レスオ [エフェクト] X(ロータリースピーカ 2ウェイロー デュアルロー デュアルロー ディスト+ ドライブ+ロータリー、アンプ+ロ ドライブ+2ロータリー、	 ハビンテージ、 2 2/3'、2'、1 3/5'、1 1/3'、1'、 2/3'、2'、レングス、 ポンス]、 3ロータリー SP、 - 1、2、3、4、5、 -タリー SP、 -タリー 、 -タリー、ディスト+2ロータリー、 アンプ+2ロータリー、OFF 			
	ロータリーン スピードコン	スピーカー ントロール		2.69~39.7Hz、スロー、ストップ				
効果	サステイン		上鍵盤1、2	2(KNEE)、下鍵盤1、2(KNEE)、ペタ	がル鍵盤1、2			
	リバーブ (音群/ リズム)	タイプ	ホール1、2、3、 プレート1、2、ホワイトJ XGルーム1、2	M、L、ルーム1、2、3、4、S、M、 レーム、トンネル、キャニオン、ベーン 2、3、XGステージ1、2、XGプレー	L、ステージ1、2、 スメント、XGホール1、2、 ト、GMプレート			
		レベル 設定	上鍵盤1、2、下鍵盤1、2、 リード1、2、ペダル鍵盤1、2、 パーカッション、アカンパニメント、 キーボードパーカッション	上鍵盤1、2、下鍵盤1、2、 パーカッション、アカンパニメン 上鍵盤オルガンフルート、	リード1、2、ペダル鍵盤1、2、 ノト、キーボードパーカッション、 下鍵盤オルガンフルート			
	音群エフェ	クト	リバーブ、ディレイ、 トレモロ/オートパン、ロー: ダイナミック、EQ/	アーリー /カラオケ、コーラス、フラ タリースピーカー、ディストーション、 /エンハンサー、ピッチチェンジ、ミス	ンジャー、フェーザー、 _ ディストーション+、ワウ、 _レーニアス、スルー			
リズム	リズムボタ	ン	MARCH、WALTZ、SWING&J	AZZ、POPS、R&B、LATIN、WOF DANCE、ユーザーボタン1、2	RLD MUSIC、BALLAD、ROCK、			
	プリセット/	パターン数		274				
	パート			メインドラム、アドドラム				
	セクション		INTRO1、2、3、ENDIN	G1、2、3、MAIN/FILLA、B、C、	D、BREAK、オートフィル			
演奏補助	アカンパニ	メント		コード1、2、パッド、フレーズ1、2	2			
機能	オートベー	スコード	OFF、シングル	レフィンガー、フィンガードコード、オ メモリー : 下鍵盤、ペダル鍵盤	」スタムA.B.C.、			
	メロディーオ	ナンコード		OFF、1、2、3、ニーレバー				

			Electone STAGEA ELS-01	Electone STAGEA ELS-01C	Electone STAGEA ELS-01X		
プログラム	ボイスエデ	ィット		0			
機能	リズムパタ・ プログラム	ーン		0			
	リズムシー・ プログラム	ケンス		SEQ.1、2、3、4 (リズム、レジスト	·)		
	キーボード ションアサ	パーカッ イン	プリセッ (パン、ピッラ	ト1、2、ユーザー 1、2、3、4、5、 チコース、ピッチファイン、リバーブ、	6、7、8 ボリューム)		
各種コント ロール	フット スイッチ	レフト	[リズム] 停止、ブレイク、> [グライド] 上:	×インA、B、C、D、イントロ1、2、 鍵盤1、2、リード1、2、下鍵盤1、3 [ロータリースピーカー]	3、エンディング1、2、3、 2、タイム設定		
		ライト		レジストレーションシフト			
	エクスプレ ペダル	ッション		0			
	セカンドエ レッション	クスプ ペダル	ピッチベンド、テンポ (設定/再生 のみ)	ピッチベン	·ド、テンポ		
	ニーレバー		サステイン (上鍵盤1、	2、下鍵盤1、2)、M.O.C.、リードス	ライド、ソロ (リード2)		
	トランスポー	ーズ		-6~+6			
	ピッチ			A=427.2~452.6Hz			
	MIDI設定			0			
	メインコン	トロール		電源スイッチ、マスターボリューム			
	MDR		上に、甲に [ソング] 停止、再生、一時停止、巻き戻い、早送り、録音、カスタムプレ 演奏設定(テンポパ(ート)、レジスト編集 [ツール] フォルダー作成、名前変更、コピー、削除、変換(XG変換/ELS→EL変換 フォーマット、情報				
	ユーティリ	ティー	言語(日本語/英語)、タッチ ディン	パネル操作音、LCDブライトネス、マ スエーブルモード(ノーマル/テンポ)、	イク(リバーブ/ボリューム)、 初期化		
	ディスプレー	イセレクト	VOICE DISPLAY, A.B.C./ M.O.C., MDR, FOOTSWITCH, UTILITY, INTERNET, VOICE EDIT, RHYTHM PATTERN PROGRAM, RHYTHM SEQUENCE PROGRAM, ROTARY SP SPEED	VOICE DISPLAY、A.B.C./M UTILITY、INTERNET、VOIC PROGRAM、RHYTHM U. ORGAN FLUTES、 ROTARY	.O.C.、MDR、FOOTSWITCH、 E EDIT、RHYTHM PATTERN SEQUENCE PROGRAM、 L. ORGAN FLUTES、 SP SPEED		
機器仕様	液晶ディス	プレイ	6.5 型T	FT- カラー LCD 800 × RGB × 48	30ドット		
	サウンド	アンプ 出力	50W×2	70W×2	70W×2(ELSU-SO1C使用時)		
		スピー カー	[コーン型] 13cm×2、5cm×2、 [モニタースピーカー] 6.6cm×2	[コーン型] 13cm×8、 [ドーム型] 2.5cm×4、 [モニタースピーカー] 6.6cm×2	[モニタースピーカー]6.6cm×2		
	ストレージ		スマートメディアスロット	スマートメデ フロッピーデ	ィアスロット、 ィスクドライブ		
	端子		PHONES (2)、AUX OUT: L/ L+R(フォーン)、L/R (LEVEL FIXED: ピン)、AUX IN: L/L+R (フォーン)、MIDI IN/OUT、USB TO HOST、 USB TO DEVICE (1)、OPTICAL OUT、 MIC./LINE IN: フォーン (INPUT VOLUME、MIC./LINE IN)	PHONES (2)、AUX OUT: L/ L+R(フォーン)、L/R (LEVEL FIXED: ピン)、AUX IN: L/L+R (フォーン)、MIDI IN/OUT、USB TO HOST、 USB TO DEVICE (2)、OPTICAL OUT、 MIC./LINE IN: フォーン(INPUT VOLUME、MIC./LINE IN)	PHONES (2)、AUX OUT: L/ L+R(フォーン)、L/R (LEVEL FIXED: ピン)、AUX IN: L/L+R (フォーン)、MIDI IN/OUT、USB To Host、USB To Device (2)、 Optical Out、MIC./LINE IN: フォーン(INPUT VOLUME、MIC./ LINE IN) ペダルユニット部: AUX OUT: L/ R(LEVEL FIXED: フォーン)、L/R (キャノン)		
	消費電力() 圧・周波数は 50/60Hz)	※定格電 100V/	90W	105W	105W(ELSU-SO1C使用時)		
	サイズ・ 本体 質量		本体:間口1229mm、奥行 574mm、高さ1017mm、 1276mm(譜面板を立てたとき)、 質量100.0kg	本体:間口1229mm、奥行 574mm、高さ1017mm、 1276mm(譜面板を立てたとき)、 質量109.0kg	本体:間口1229mm、奥行 987mm、高さ1017mm、 1276mm(譜面板を立てたとき)、 質量103.0kg		
		椅子	間口781mm、奥行305mm、 高さ618mm、質量8.8kg	間口915mm、 高さ618mm	奥行365mm、 、質量12.1kg		
	色・仕上げ			シルバーメタリック			
	付属品		椅子、取扱説明書、活用力	ゴイド、記録用スマートメディア、保証	書、ユーザー登録のご案内		

*仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

ヤマハ株式会社